

第2次加西市スポーツ推進計画

～しょうがいスポーツ応援都市・KASAI～

令和3年3月

加 西 市

はじめに

本市では、平成 26 年度に策定した「加西市スポーツ推進計画」に基づき、市民だれもが「いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツ活動ができる社会、「しょうがいスポーツ応援都市・KASAI」の実現を図ることを基本理念として掲げ、市民スポーツ活動を推進してまいりました。

近年、スポーツへの関心が高まるなか、少子高齢化、働き方の多様化による変化など私たちの生活環境は大きく変化しています。

しかし、スポーツは、体力の向上、生活習慣病の予防、健康長寿、相互コミュニケーション、青少年の健全育成等、それぞれスポーツをする目的は異なりますが、いつまでもスポーツを生き甲斐とし、健康で豊かな楽しい生活を送ることは、いつの時代の人々も変わらず願うものではないでしょうか。



さて、国においては、平成 23 年度にスポーツ基本法が施行され、スポーツ基本法の規定に基づき、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針として位置付けられている「スポーツ基本計画」が策定され、そして、平成 29 年 3 月に「第 2 期スポーツ基本計画」が策定されました。「第 2 期スポーツ基本計画」では、「スポーツ参画人口」を拡大し、他分野との連携、協働により「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むこととしています。

このような状況のもと、この度策定した「第 2 次加西市スポーツ推進計画」では、スポーツを通じて、活力ある人生を送るため 4 つの基本方針に基づき 7 つの施策を掲げて前計画より引き続き「しょうがいスポーツ応援都市・KASAI」を推進してまいります。

そして、「スポーツをする人」を育み、スポーツを通してふるさと加西に愛着と誇りを持つことができる推進施策を図り、市民誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツ活動ができる社会の実現を図ってまいります。

結びに、計画の策定にあたりまして、市民意識調査などを通じて貴重なご意見をいただいた市民の皆様をはじめ、ご審議を賜りました加西市スポーツ推進審議会の皆様、関係者の方々に心から感謝と御礼を申し上げますとともに、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 3 年 3 月

加西市長 西村 和平

目 次

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画におけるスポーツの定義	1
3 計画の位置づけ	1
4 計画の体系	2
5 計画期間	2
第2章 本市スポーツ・健康に関わる現状と動向	3
1 加西市の現状	3
2 加西市のスポーツ・健康に関する現状	4
3 企業との連携	8
4 体育施設の利用について	8
5 スポーツ関連団体の現状と今後の展開	9
第3章 加西市民スポーツ振興意識調査結果の概要	18
1 概要について	18
第4章 総括	28
1 人口減少からみる本市のスポーツ推進	28
2 本市のスポーツの動向	28
3 子どものスポーツ推進	28
4 障がい者スポーツ推進	28
5 高齢者スポーツの推進	28
第5章 本市のスポーツ推進施策	29
1 推進のための施策体系	30
2 推進のための施策方針ごとの取組内容	31
第6章 計画の推進に向けて	39
1 推進体制の仕組み	39
2 市内スポーツ・社会教育団体等との連携・協働	39
■資料編	40
1 第2次加西市スポーツ推進計画策定検討委員会の開催状況	41
2 加西市スポーツ推進審議会の開催状況	43
3 加西市民スポーツ振興意識調査の結果	47

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本市では、平成 26 年度に策定した「加西市スポーツ推進計画」に基づき、市民だれもが「いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツ活動ができる社会、「しょうがいスポーツ応援都市・KASAI」の実現を図ることを基本理念として掲げ、市民スポーツ活動を推進してまいりました。

この間、国では「第2期スポーツ基本計画」（平成 29 年度～令和 3 年度）の策定、兵庫県では「兵庫県スポーツ推進計画」（平成 24 年度～令和 3 年度）の改定がおこなわれ、スポーツ行政の大きな見直しが図られています。

また、2019 年から 2022 年にかけて、ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西などの世界的なスポーツイベントが開催され、この期間は「ゴールデン・スポーツイヤーズ」と呼ばれ、世界中がスポーツに熱狂します。

こうした変化を捉えながら、第6次加西市総合計画の策定に合わせ令和3年度から令和12年度までの10年間の計画期間とする「第2次加西市スポーツ推進計画」を策定しました。

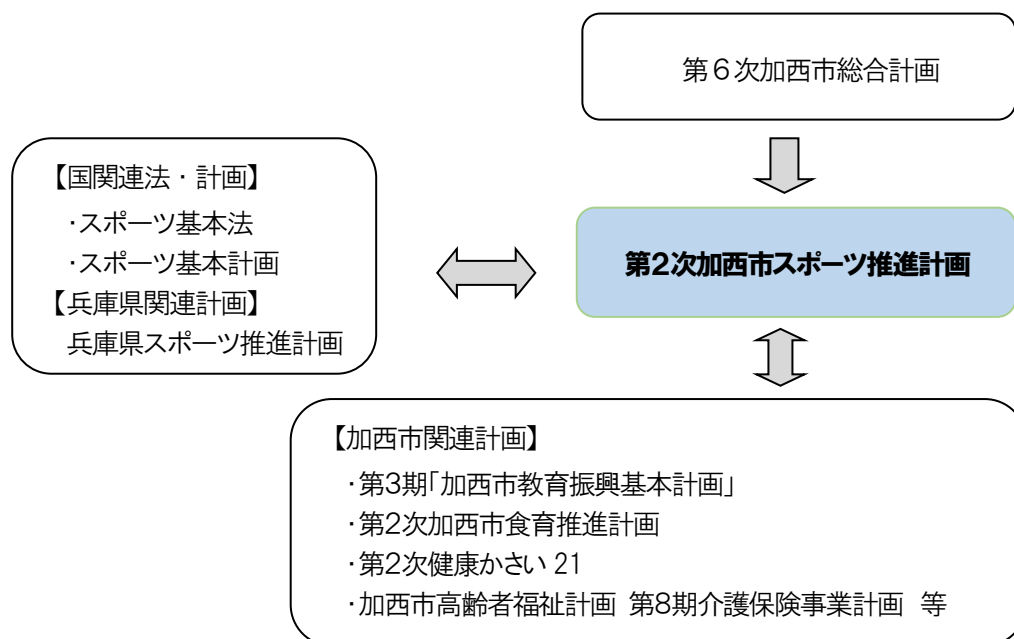
※東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西については、新型コロナウイルス感染症流行のため、1 年延期となっています。

2 計画におけるスポーツの定義

本計画におけるスポーツとは、勝敗や記録を競う競技スポーツだけではなく、生涯スポーツ、散歩やウォーキング、体操等の軽い運動など、体を動かす運動すべてを含めてスポーツとして幅広く捉えることとします。

3 計画の位置づけ

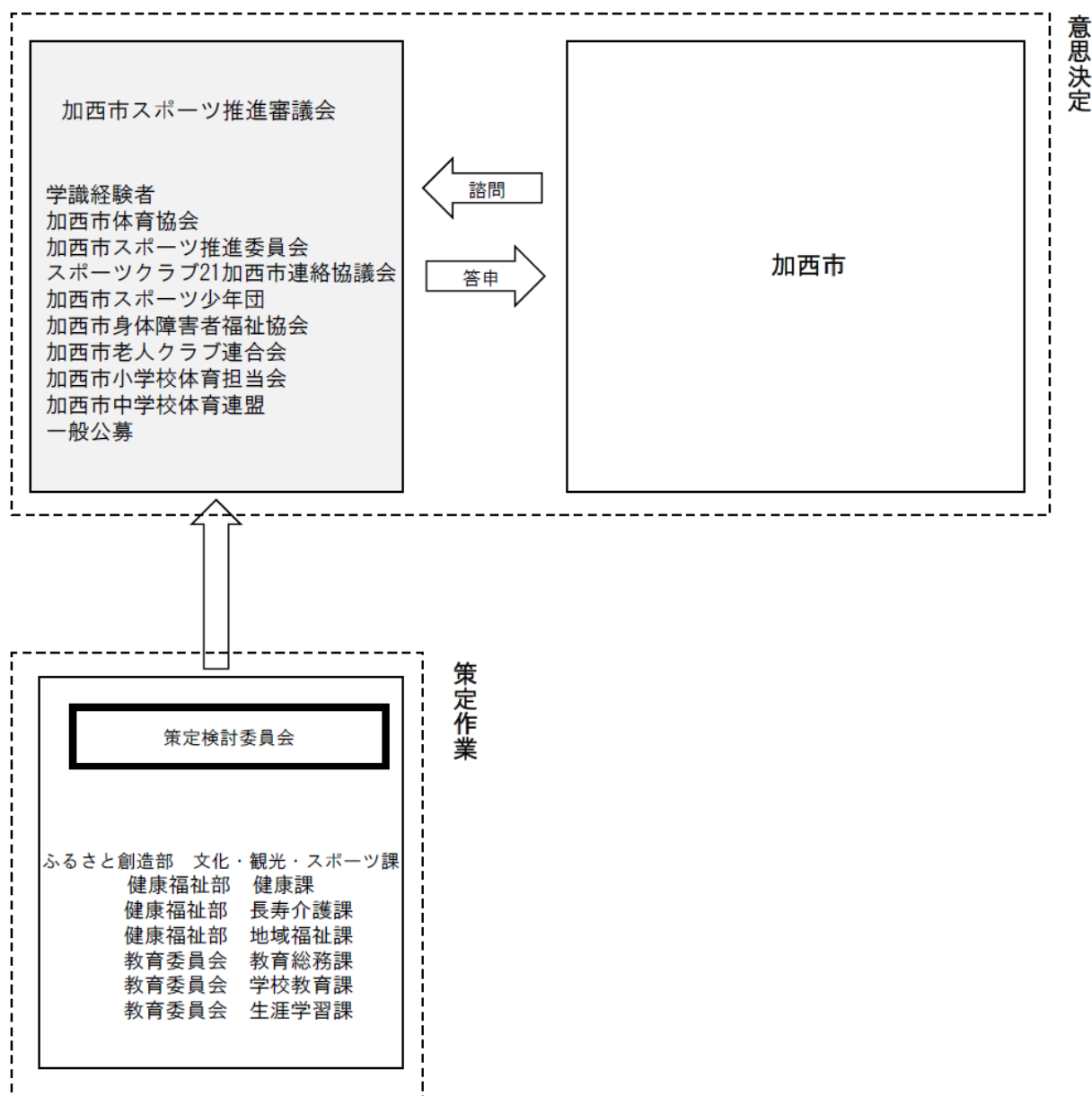
本計画は、スポーツ基本法第 10 条「地方スポーツ推進計画」の規定に基づく推進計画で、加西市スポーツ推進審議会をはじめ、スポーツに関係する団体等や市民意識調査の結果などを踏まえ、「第6次加西市総合計画」を上位計画として、スポーツ・健康等との関連計画との整合性を図りながら実施するものです。



4 計画の体系

計画を策定するにあたり、加西市より加西市スポーツ推進審議会へ諮問を受けます。そして、庁内の関係部署によって構成された「第2次加西市スポーツ推進計画策定検討委員会」により計画を策定し、その内容を「加西市スポーツ推進審議会」で審議します。審議された計画を審議会より加西市へ答申をおこないます。

▼第2次加西市スポーツ推進計画の策定体制（表1）



5 計画期間

本計画の期間は、令和3年度～令和12年度までの10年間とします。

なお、本計画の推進に当たっては、施策の実施状況や成果等を適宜把握しながら、具体的目標の達成について検証し、5年後を目処に、計画の見直しを行う予定です。そして、国の動向や社会情勢の変化などへの対応となった場合は、適宜見直しを図るものとします。

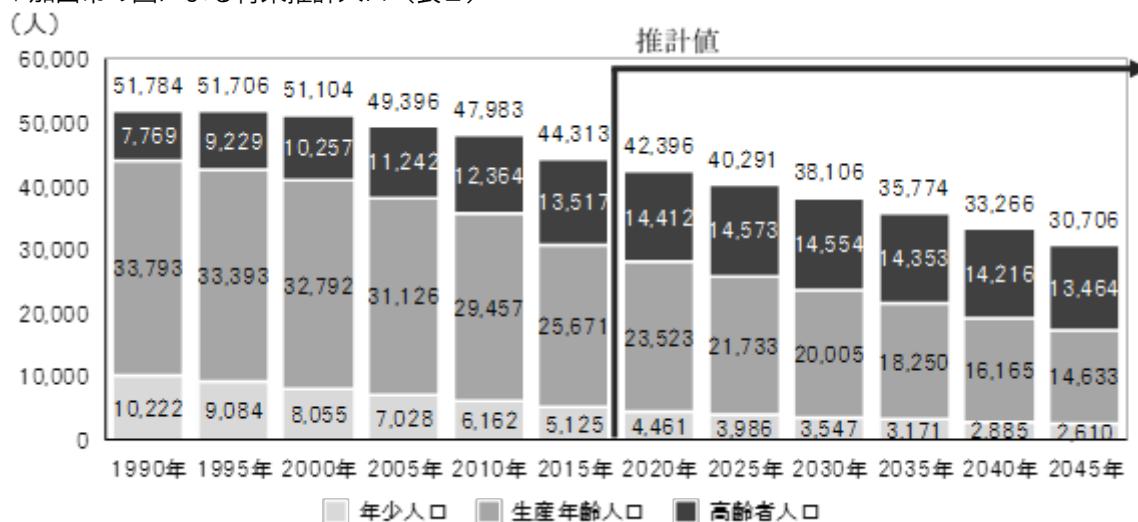
第2章 本市スポーツ・健康に関わる現状と動向

1 加西市の現状

(1) 人口の推移

本市では、1986年（昭和61）度の53,056人をピークとして人口の減少が続いています。2018年度には25年ぶりに転入超過に転じました。

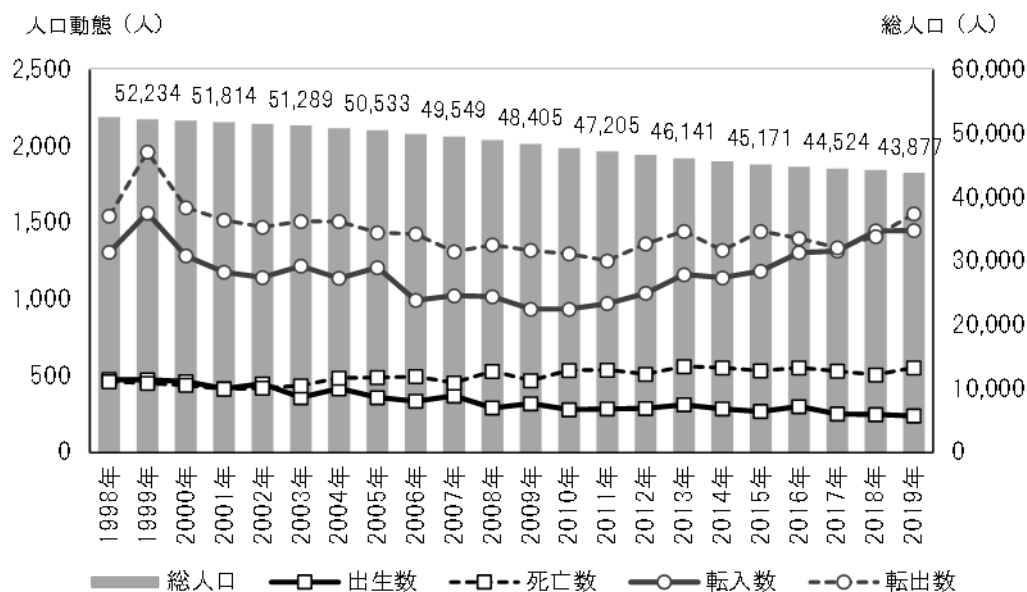
▼加西市の国による将来推計人口（表2）



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30（2018）年推計）

※人口増政策課データ提供

▼加西市のこれまでの人口動態の推移（表3）



資料：加西市「加西市統計書」

※人口増政策課データ提供

2 加西市のスポーツ・健康に関する現状

(1) スポーツイベントの開催

ア グリーンパークトライアスロン in 加西の開催

「スポーツで旅を楽しむ」「旅先でスポーツを楽しむ」ことを目的とする旅行者を取り込み、観光の活性化を図るスポーツツーリズムを推進するため、「グリーンパークトライアスロン in 加西」を実施しています。

令和3年度で10回を迎え、トライアスロン競技では珍しい内陸部で“ため池”と、田園風景をコースに、初心者から上級者までが参加でき、気軽に楽しく競技できる大会を実施しています。

また、車イスを含む全カテゴリーの選手が出場できるパラトライアスロン部門を開催しています。

イ カサイチ fan ライドの開催

豊かな自然と古い歴史が残る加西市と近隣市町の魅力をより多くの方に知っていただくために、近隣市町と協力したサイクリングイベントを実施しています。また、サイクルツーリズムによる地域間連携の強化と、「サイクリングが、“健幸”“生きがい”“共生”“自然回帰”の機会を与えてくれるものである」という「ネイチャーサイクリング文化」の普及・定着に取り組んでいます。

ウ 世界的なスポーツイベントの開催

国際マスターズゲームズ協会(IMGGA)が4年ごとに主宰する生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」が令和4年、日本でアジア初の開催が決定しています。

加西市ではテニス競技が青野運動公苑アオノテニスクラブでおこなわれます。

エ その他

(ア) 町親善ソフトボール大会(体育協会主催)

市内各町の親睦を図り、成人の体力づくりと地域スポーツの振興を目的として市内体育施設や学校で大会を開催しています。

(イ) 市民体育大会(体育協会主催)

市民の健やかな体と豊かな心づくりを目指し、市内体育施設や学校で15種目のスポーツ大会を開催しています。

(ウ) 加西ロマンの里ウォーキング(体育協会主催)

豊かな自然と歴史あふれる加西の良さを確認しながら、健康づくり・体力づくりを図ることを目的として毎年ウォーキングを開催しています。

(エ) スポーツ少年団のつどい

レクリエーション・スポーツを通じて、団員同士の交流を図ることを目的として開催しています。

(オ) スポーツクラブ 21 連絡協議会交流会

スポーツクラブ 21 加西市連絡協議会会員並びに地域住民の交流を深め、地域を越えたクラブ間のネットワークを構築するとともに、各スポーツクラブの継続的な運営等、加西市連絡協議会のスポーツクラブの一層の充実を図ることを目的として開催しています。

(2) スポーツ教室の開催

スポーツへの参加を促進するため、大学や民間スポーツクラブ等との連携によりライフステージに応じたスポーツ活動の推進を図りました。同時に指導者の確保として、プロ・民間スポーツクラブと連携し、層の厚い指導者を確保し、参加者のスキルアップを図りました。また、スポーツ推進委員会による「ニュースポーツ教室」を実施し、全ての年代の方が楽しみ、参加できる機会を創出しました。

〈平成 26 年度～令和元年度実績〉

- 環太平洋大学との連携によるソフトボール教室
- ヴィッセル神戸サッカークリニック
- 兵庫ディオネ野球教室
- 「キッズ」「大人」のフットサル教室
- ダブルダッチ教室
- ブラインドサッカー教室
- ヴィクトリーナ姫路バレーボール教室
- 西宮ストークスバスケットボール教室
- バドミントン教室
- Cento Cuore HARIMA ジュニアサッカースクール
- ニュースポーツ教室
- テニス教室

(3) 健康に関する動向

ア ラジオ体操の促進

加西市はラジオ体操の生みの親「大谷武一氏」の出身地であり、当市ではラジオ体操による健康づくりとまちづくりを推進しています。

「NHK ラジオ・体操講師によるラジオ体操」「ラジオ体操教室」「イオンモール加西北条でのラジオ体操」の実施など、市内でもラジオ体操を実施する場の広がりを見せています。

イ 児童生徒の体力、運動能力の向上推進・児童生徒の健康教育の推進

栄養教諭による食に関する知識や栄養、食習慣等について栄養指導をおこない、特に小学生を中心に朝食の大切さや食の大切さを伝える授業を実施しました。また、児童生徒の体力づくりの推進のため、「加西市野菜を食べようプロジェクト」を行い、食育推進をおこなうとともに児童・生徒の体力づくりの推進をおこないました。

ウ 運動による健康づくりの推進

歩くこと（市民全体の身体活動量や交流を増やすこと）が健康の基本であるという考えのもと、「住めば自然と歩いてしまうまち」「健幸になれるまち」を推進するため、平成 26 年度に「歩くまちづくり条例」を制定しました。そして、平成 28 年度から活動量計を使用したポイント付与システムでの事業を実施し、また、令和元年度より携帯アプリを活用し、これまで健康づくりに関心なかった層にも興味を持ってもらえるように実施しています。

〈2019 年加西市運動ポイント事業に関するアンケート結果（抜粋）〉

- 歩く習慣がついた。
- 自分の体自体の治癒力が高まっている。
- 色んなところに行く機会が増えた。
- 「体を動かす気持ちが常にあること」が良い。
- ウォーキングをするきっかけであり、少しでも継続できることに繋がれば良い。
- 健康の意識が高まり、歩くことの大切さを知り、歩く習慣が身に付いた。
- ポイント増という目的により歩くことが習慣づいて足も軽やかになってきた。
- 体を動かす目標となり、自然と健康に生きる努力や興味が湧いてくる。

※アンケート実施期間 令和 2 年 1 月 28 日～令和 2 年 2 月 7 日

※健康課データ提供



グリーンパークトライアスロン in 加西



Cento Cuore HARIMA ジュニアサッカースクール



ロマンの里ウォーキング



町親善ソフトボール大会

▼加西市運動ポイント事業の歩み（表4）

				2,231名 ※令和2年2月29日時点の市民によるアプリ登録者数	
参 加 者 数			1,434名		
		997名			
250名	500名				
H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2
4月1日「加西市歩くまちづくり条例」施行	4月30日イオンリテール(株)と加西市が「歩くまちづくりに関する協定」を締結				加西市と多可町で広域実施 チェックイン機能を追加 グループ機能を試行 対象年齢を40歳～を20歳～に引下げ 参加費500円を無料に 体組成測定をイオンモールのイオン薬品コーナーで実施 イオンモールでラジオ体操を実施 北条鉄道、県立フラワーセンター利用でポイント付与 イオンモールウォーキングでイオン健康ポイント付与 イオンモールでウォーキング講座・健康相談を実施
ポイント記録帳	活動量計			スマホアプリ	
H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2
7月～3月 1か月～3か月間	11月～3月 5か月間	10月～2月 5か月間	5月～2月 10か月間	6月～2月 9か月間	6月～2月 9か月間
実 施 期 間					
	10,000	10,000			
インセンティブ・上限ポイント			7,000		
				5,000	
					4,000

※健康課データ提供

3 企業との連携

(1) 株式会社姫路ヴィクトリーナとの連携

平成 29 年度に市制 50 周年記念事業として、市内中学校バレーボール部員に対して、バレーボール教室を実施しました。

平成 30 年度には、スポーツ少年団ジュニアバレーボール部員を対象としたバレーボール教室を実施し、現役選手 6 名から指導を受けました。

令和元年度には、株式会社姫路ヴィクトリーナと包括連携・支援協力に関する協定を締結し、バレーボールの普及や市民の健康増進に係る企画の実施をおこないます。

(2) 大塚製薬との連携

令和 2 年度に大塚製薬と市民の健康を守る取り組みで協力する包括的連携協定を締結し、健康講座や熱中症対策、スポーツ振興に関して支援していただきます。

4 体育施設の利用について

本市のスポーツ担当課の所管する体育施設として、表 5 のとおり 10 の施設（令和 2 年 4 月現在）があります。これらの体育施設利用者は、令和元年度においては、79,887 人であり、この内、勤労者体育センターの利用者数（18,036 人）が約 2 割を占めています。この他、利用者数が多い施設は、多目的グラウンド（11,198 人）、アラジンスタジアム（9,143 人）、アクアスカさい（8,832 人）などであり、多くの方が利用しています。

また、市民の身近なスポーツ活動の場、地域スポーツ活動の拠点として、市内の小・中学校等の体育館や運動場が市民に開放されており、令和元年度においては、約 276,000 人の利用がありました。

▼加西市体育施設一覧及び年間利用者数（表 5）（令和 2 年 4 月現在）

番号	施設名称	平成 29 年度(人)	平成 30 年度(人)	令和元年度(人)
1	加西勤労者体育センター	19,625	21,371	18,036
2	アラジンスタジアム	14,233	11,674	9,143
3	多目的グラウンド	9,976	11,885	11,198
4	市民グラウンド	8,360	7,628	6,786
5	加西テニスコート	7,793	8,090	8,318
6	すぱーく加西	4,939	5,129	5,350
7	アクアスカさい	8,200	8,408	8,832
8	加西南テニスコート	2,821	3,042	3,679
9	加西南多目的グラウンド	2,896	2,376	1,929
10	ぜんぼうグリーンパーク	7,450	7,245	6,616
合 計		86,293	86,848	79,887

※令和元年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月 3 日～3 月 31 日の間、利用を制限しています。

5 スポーツ関連団体の現状と今後の展開

(1) スポーツ推進委員会

ア 現状

スポーツ推進委員会は、各小学校区から選出され、「加西市スポーツ推進委員に関する規則」に基づいて、加西市が委嘱（20 名・令和2 年4 月現在）しています。主な活動として、スポーツの実技指導、スポーツ活動促進のための協力等、市内においてスポーツをする人を増やすための活動をしており、市のスポーツ振興においてなくてはならない存在となっています。

イ 今後の展開

本市では、スポーツ推進委員会を中心にニュースポーツ教室を自主事業として実施しています。今後は、近隣市町と連携したニュースポーツを継続して実施・普及していき、ニュースポーツをスポーツクラブ 21、公民館活動として活動できるよう目指します。

また、加西市におけるスポーツを推進していくため、スポーツ推進委員において、指導者の実技指導の資格を取得し、指導者を増やしていくことが望まれます。

(2) スポーツクラブ 21

ア 現状

「スポーツクラブ 21 ひょうご」は、スポーツ活動を通して、地域住民の健康の増進と地域の活性化及び青少年の健全育成を図ることを目的に平成 12 年度より県下の小学校区ごとに設立された地域スポーツクラブのことです。子どもから高齢者までの地域住民が、色々なスポーツを楽しむことができる「スポーツクラブ 21」は、地域住民によって自発的・自主的に運営されています。加西市では、兵庫県教育委員会の支援を受けて、平成 12 年 12 月に「スポーツクラブ 21 ひょうご加西市推進委員会」を立ち上げ、平成 13 年4 月より市内各小学校区に地域スポーツクラブとして設立され、スポーツ活動が展開されています。

イ 今後の展開

スポーツクラブ 21 はあくまで参加者・会員による受益者負担を原則として、各地域住民により自発的・自主的に運営がおこなわれています。そのため、地域スポーツ活動の推進だけでなく、地域コミュニティの再生の担い手としての役割も同時に期待されています。しかし、クラブ育成の取り組みよりも設立することが目的となってしまう、市内 11 あったクラブの内、4 クラブが休止となっている状態です。

会員については、設立当時のメンバーが多くを占め、会員の高齢化が進んでいます。今後は、地域内の各団体と連携し、スポーツクラブ 21 の組織強化や校区を越えたクラブの統合を検討し、地域住民のスポーツ交流の場となることが望まれます。

(3) スポーツ少年団

ア 現状

スポーツ少年団は、スポーツを通じて青少年の心身の健全な育成を図るため、本市の未来を担う小学生を中心に組織されています。

本市のスポーツ少年団は、表6のとおり5種目 23 団体 376 人が登録されています。しかし、前計画策定時では、5種目 30 団体 572 人（平成 25 年度）が登録していましたが、少子化、親の働き方の変化など生活様式の変化もあり、団員数の減少が著しく、活動ができない団体も出てきています。

また、指導者の高齢化も懸念される事項として挙げられます。

イ 今後の展開

スポーツ少年団活動は、競技スポーツだけでなく、相互交流活動、仲間づくり等の側面もあります。しかし、子どもにおいては、日常的に遊ぶ場所が無くなってきており、スポーツをするきっかけを作り、スポーツと出会い、様々な経験をすることができる環境づくりが大切です。

また、子どもの時にスポーツに親しみ、生涯に渡りスポーツと付き合い、健康で豊かな生活を送ってもらえるような体制を整えて行く必要があります。

そして、子どものスポーツをできる機会を損なわないよう、団員の確保や保護者の負担の軽減も検討して行く必要があります。



アラジンスタジアム



スポーツ少年団のつどい



ニュースポーツ教室

▼加西市スポーツ少年団（表6）

（令和2年4月現在）

種 目	団 名		団員数（人）		
			平成	令和	
			30年度	元年度	2年度
野 球	1	北条野球スポーツ少年団	23	22	13
	2	富田少年野球団	13	13	16
	3	善防少年団	25	22	27
	4	九会野球スポーツ少年団	20	20	20
	5	富合野球スポーツ少年団	20	14	15
	6	泉少年野球クラブ	12	19	11
サッカー	1	北条サッカースポーツ少年団	30		
	2	善防フットボールクラブ	12		
	3	九会サッカースポーツ少年団	22		
	4	泉FC Jr	41		
	5	加西FC	—	65	85
	6	根日女サッカースクール	28	17	25
バレーボール	1	北条ジュニアバレーボールクラブ	15	12	6
	2	北条東バレーボールクラブ	11	7	9
	3	賀茂バレーボールクラブ	7	6	—
	4	下里ジュニアバレーボールクラブ	14	7	8
	5	セレクション加西	14	9	7
	6	九会ジュニアバレーボールクラブ	2	2	2
	7	富合ジュニアバレーボールクラブ	10	9	12
	8	日吉ジュニアバレーボールクラブ	12	9	12
	9	泉ジュニアバレーボールクラブ	14	12	13
武 道	1	加西柔道こども会	9	9	9
	2	加西市剣道スポーツ少年団	14	12	6
	3	加西剣道こども会	6	3	3
	4	北条少年剣修会	12	11	9
	5	加西市少年少女空手道教室	21	20	26
	6	少林寺拳法	25	14	12
バスケットボール	1	加西ミニバスケットボール教室	29	32	30
合 計			461	366	376

※サッカー1～4については、令和元年度より加西FCへ統合

(4) 特定非営利活動法人加西市体育協会

ア 現状

加西市体育協会は、15 種目協会が加盟し、1,809 人の会員が、明るい生きがいのあるまちづくりと市民の健康と体力づくりを目指し活動しています。

平成 27 年度には、健康志向や生涯スポーツへの関心の高まりを受け、市民が気軽に楽しめる生涯スポーツ的要素を含んだ活動を展開するとともに市内のスポーツ関係団体と連携を取り、スポーツ振興、青少年の健全な育成活動に取り組むため特定非営利活動法人格を取得しました。

平成 28 年度には、加西市体育施設の指定管理者として市内体育施設の管理と運営を委託され、修繕を含めたハード面の強化と市民が利用しやすいソフト面の強化を図りながら、指定管理者として施設の運営をおこなっています。

スポーツ振興・競技力向上に向けての取り組みとして、町親善ソフトボール大会、市民体育大会、ロマンの里ウォーキングの3つを協会事業の柱として実施し、協会理事がサポートしながら市民誰もが気軽に参加でき、健康づくりと交流ができるような事業展開を図っています。

市民体育大会は、各種目協会主催の大会が10月いっぱい開催され、約2,500人が参加し、日ごろの成果を発揮する大会となっています。また、開会式では、長年スポーツの振興に寄与された方やスポーツ大会で好成績を収めた方、スポーツで活躍し、加西市民から多大な成果と評された方を表彰しています。

各種目協会は、定期的に大会を開催し競技力の向上を図っていますが、指導者・構成員の高齢化及び減少、少子化による協会加入者の減が懸念されています。また、市内の施設では、所属している協会の競技ができないという問題も生じています。

イ 今後の展開

スポーツ・運動に対する市民のニーズは高まっており、体育協会に対する期待も大きくなっていく中で、従来の事業を充実することはもちろん、時代に応じた事業を展開していくことが必要です。

今後は、指導者の育成及び会員の確保を図り、市民のスポーツ振興、健康づくりに寄与していくことが望まれます。



体育大会総合開会式

▼体育協会加盟団体及び団員数（表 7）

（令和 2 年 4 月現在）

	協 会 名	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
		団体数	団員数	団体数	団員数	団体数	団員数
1	軟式野球協会	30	570	30	600	24	400
2	陸上競技協会	1	56	1	50	1	60
3	バレーボール協会	31	374	33	340	31	300
4	サッカー協会	10	250	10	250	9	130
5	卓球協会	7	120	8	110	8	100
6	ソフトテニス協会	8	120	9	138	9	138
7	空手道協会	2	108	2	106	1	32
8	剣道連盟	5	15	8	82	3	108
9	少林寺拳法協会	1	45	1	30	1	45
10	バドミントン協会	4	20	4	20	4	20
11	テニス協会	4	60	4	60	4	60
12	ゲートボール協会	20	140	16	133	17	136
13	グラウンド・ゴルフ協会	1	22	1	23	1	23
14	バウンドテニス協会	3	35	2	32	2	31
15	バスケットボール協会	24	303	19	287	18	226
合 計		151	2, 238	148	2, 261	133	1, 809

(5) 加西市身体障害者福祉協会

ア 現状

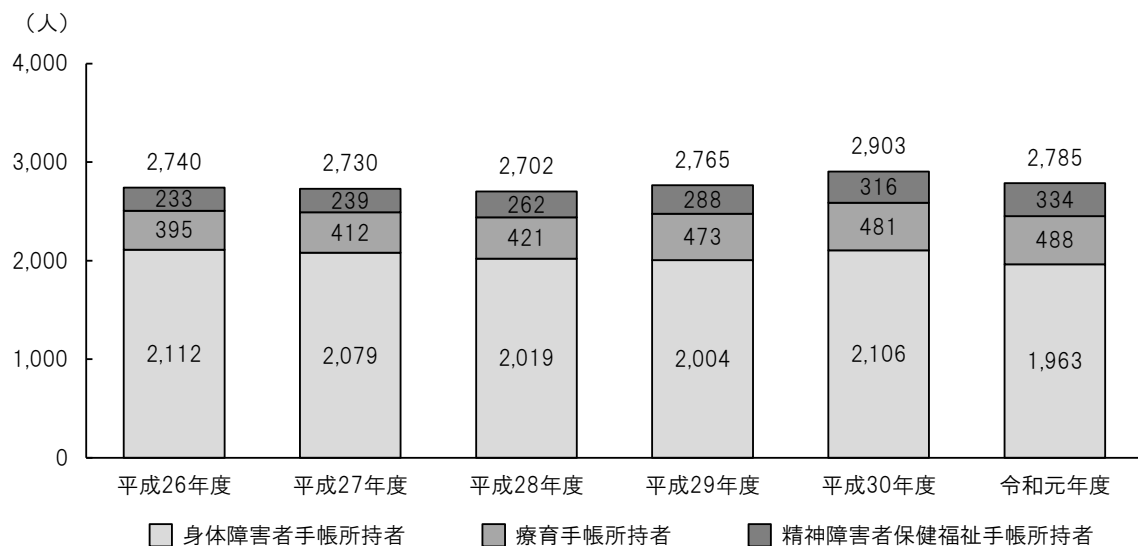
会員を対象にレクリエーション大会を開催し、近年はグラウンド・ゴルフ大会を実施しています。しかし、会員の高齢化で事業をしたくても出来ない、また、新規会員の入会も少なく、会の存続が懸念されています。

イ 今後の展開

表8のとおり、障害者手帳所持者数は増加傾向にあり、令和元年度時点で2,785人となっています。

会員増を図るため、障害者手帳所持者を対象にしたレクリエーション大会を開催し、障がい者スポーツの普及と協会の会員増に努めます。また、ニュースポーツを体験していただく機会を創出し、誰でも気軽に障がい者スポーツに親しむことができるように図っていきます。

▼障害者手帳所持者数の推移（表8）



資料：加西市地域福祉課（各年度末時点）
 ※発達障がいは療育手帳所持者に含まれる
 ※福祉企画課データ提供

(6) 加西市老人クラブ連合会

ア 現状

地域の公園や公共施設等でグラウンド・ゴルフやゲートボールを実施しています。

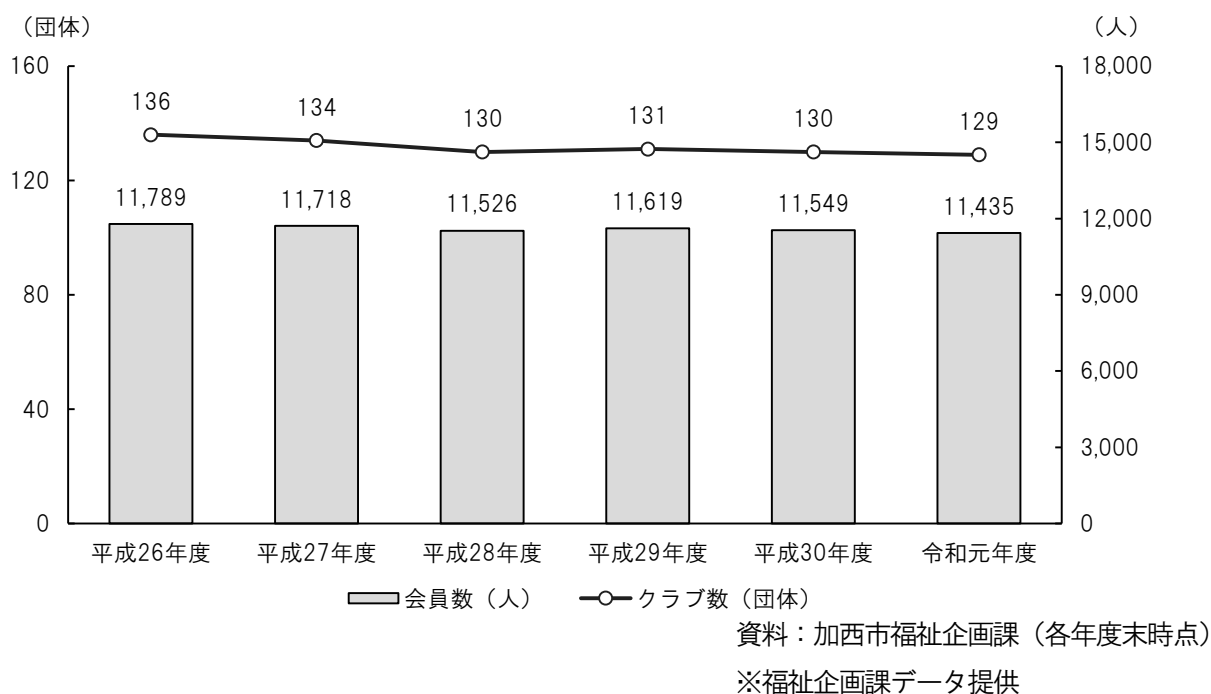
ニュースポーツを新たに取り入れて行くことを検討していますが、道具を揃えるにも高価であり、一度に大勢の人が集まってプレーをすることが難しいなどの理由で構想が持ち越されています。

イ 今後の展開

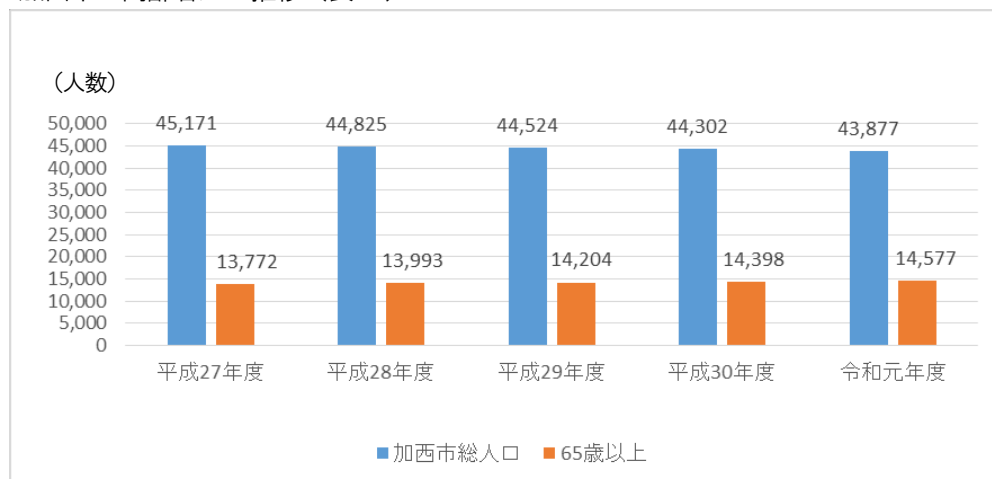
表9のとおり、老人クラブ会員数、クラブ数ともに微減傾向で推移しています。

グラウンド・ゴルフやゲートボールに変わるスポーツを取り入れ、その一つとしてニュースポーツを実施し、高齢者の方でも気軽に参加することができる機会を創出して行くことが大切です。

▼老人クラブ会員数及びクラブ数の推移（表9）



▼加西市の高齢者人口推移（表10）



(7) 学校教育

ア 現状

加西市の児童において表 11 のとおり、柔軟性や筋力が弱い傾向にあります。それらを補うため、授業の一部に取り入れ強化に努めています。また、各校において、スポーツテストを実施し、数値の落ちる項目については、向上するよう重点的に取り組んでいます。

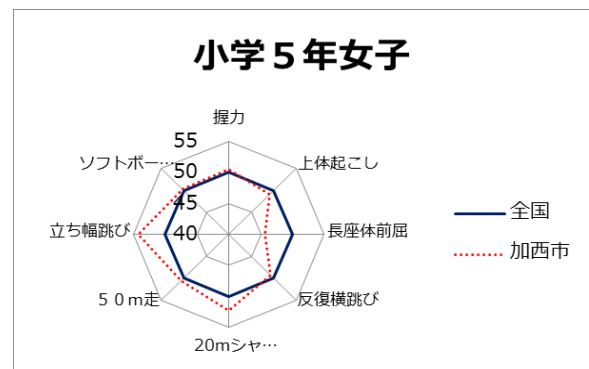
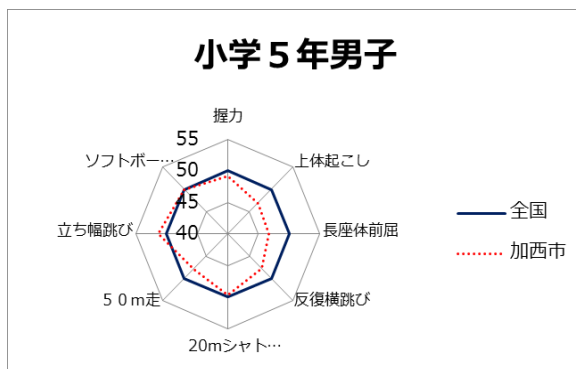
加西市の生徒は、表 11 のとおり、持久力が強く、筋力・柔軟性が弱い傾向にあります。また、部活動においては、部員数の減少に伴う休部や廃部といった問題があり、スポーツを通して基礎体力を高め、人間性や社会性を育みながら成長していく機会が減少し、人間形成において少なからぬ影響をもたらすことが懸念されています。

▼令和元年度加西っ子の体力・運動能力、運動習慣等調査の報告（表 11）

※数値はすべて、T 得点（全国平均 50 に対する相対的な位置を示すもの）で表しています。

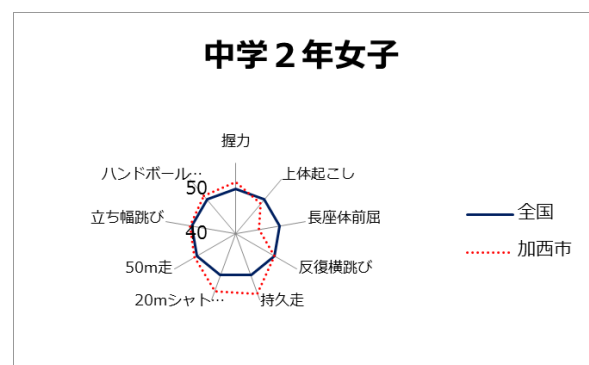
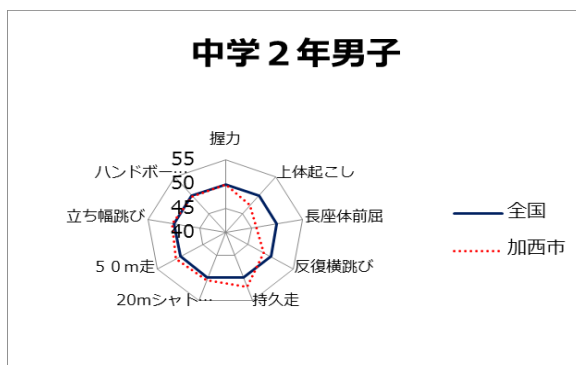
R1 小学校 5 年男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	5 0 m 走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
全国	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
加西市	49.2	46.9	46.6	47.8	49.7	47.9	51.3	50.0

R1 小学校 5 年女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	5 0 m 走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
全国	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
加西市	50.5	49.1	45.6	49.3	52.3	50.6	54.2	50.3



R1 中学校 2 年男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ
全国	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
加西市	50.0	47.3	45.9	48.5	52.0	50.6	51.0	50.3	49.8

R1 中学校 2 年女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ
全国	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
加西市	51.7	48.9	45.3	50.0	54.4	53.8	50.7	50.5	51.1



▼加西市中学校部活動一覧（表 12）

部活名 学校名	野球	サッカー	バレーボール		バスケットボール		陸上競技	剣道	卓球（男子）	ソフトテニス		ソフトボール（女子）	吹奏楽	美術	合計数
			男子	女子	男子	女子				男子	女子				
北条中学校	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	13
善防中学校	○	○		○		○	○	○	○				○		8
加西中学校	○	○	○			○	○	○			○		○	○	9
泉中学校	○	○	○	○		○	○	○	○		○		○		10

令和2年9月現在

※学校教育課データ提供

イ 今後の展開

小学校においては、体育授業数の減少により、体を動かす機会が減っていることに加え、少子化により子ども同士で遊ぶ経験が少なくなっています。また、外遊びの機会が少なく遊ぶ場所や生活様式の多様化により遊ぶ環境が変わっています。

地域において活動できる場等を創出することや体を動かす機会としてスポーツ少年団等に所属することを促し、スポーツを通して基礎体力を高め、人間性や社会性を育みながら成長していく機会を創出して行くことが大切です。

プロ選手等による試合等を見ることで、本物を感じてもらいスポーツをするきっかけとなるような場を作ることや子どもの頃から、一生継続することができるスポーツをし、高齢になってもスポーツを生きがいとし、健康で豊かな生活を送り、そして地域に愛着を持つことができるような環境を整備して行くことが大切です。

第3章 加西市民スポーツ振興意識調査結果の概要

本計画を策定するにあたり、市民スポーツの活動実態と健康に関する意識及びスポーツ振興施策に対する要望等、生涯スポーツ振興のための基礎データを収集することで、計画策定に向けた当市の実態把握をおこないました。結果から、当市のスポーツの現状が伺える主なものを以下に示します。

1 概要について

(1) スポーツの実施状況

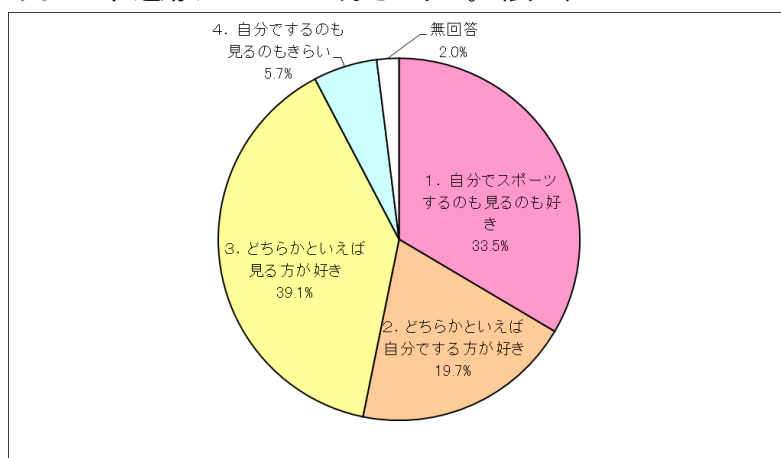
ア スポーツ好嫌度と実施頻度

本計画の策定に際し、実施した市民スポーツ振興意識調査によれば、表 13 のとおり、市民の約 50% がスポーツで体を動かすことが「好き」と回答しています。

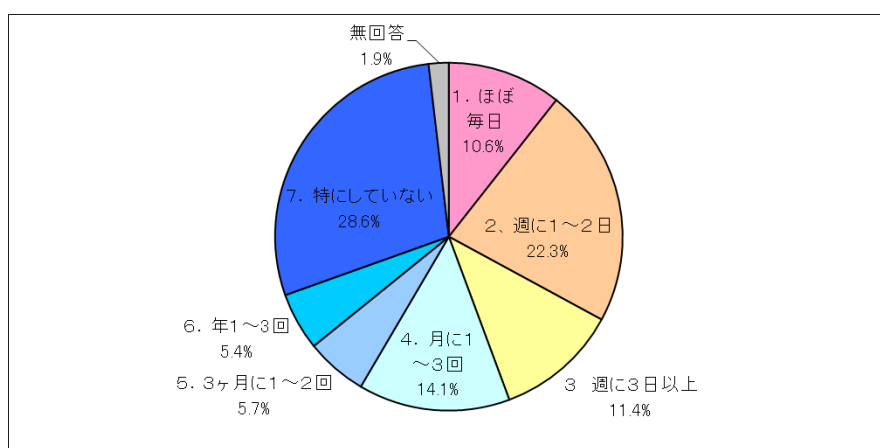
また、週に 1 日以上スポーツをしている人は、表 14 のとおり、約 44% となっていますが、前計画策定時に実施した調査では約 35% であったため、大幅にスポーツをする人が増えています。しかし、国の「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（令和元年 11 月～12 月）では、成人の週 1 回以上スポーツをおこなっている割合は、国民の 53.6% となっています。国が策定した「第 2 期スポーツ基本計画」が目標とした、成人の週 1 日以上スポーツ実施率 65% には程遠い現状であります。

年代別にみると、20・30 代、50 代以上が週に 1～2 日運動・スポーツをしている人が多く占めていますが、40 代の運動・スポーツをしている人が少なくなっています。[P. 50（6）参照]

▼あなたは、運動やスポーツが好きですか。（表 13）



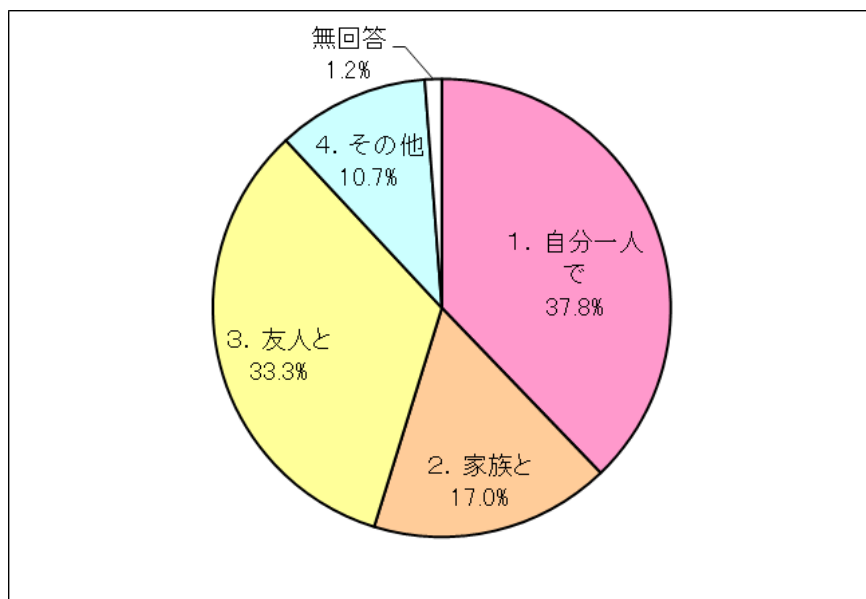
▼あなたは、過去 1 年間に何日くらい運動・スポーツをおこないましたか。（表 14）



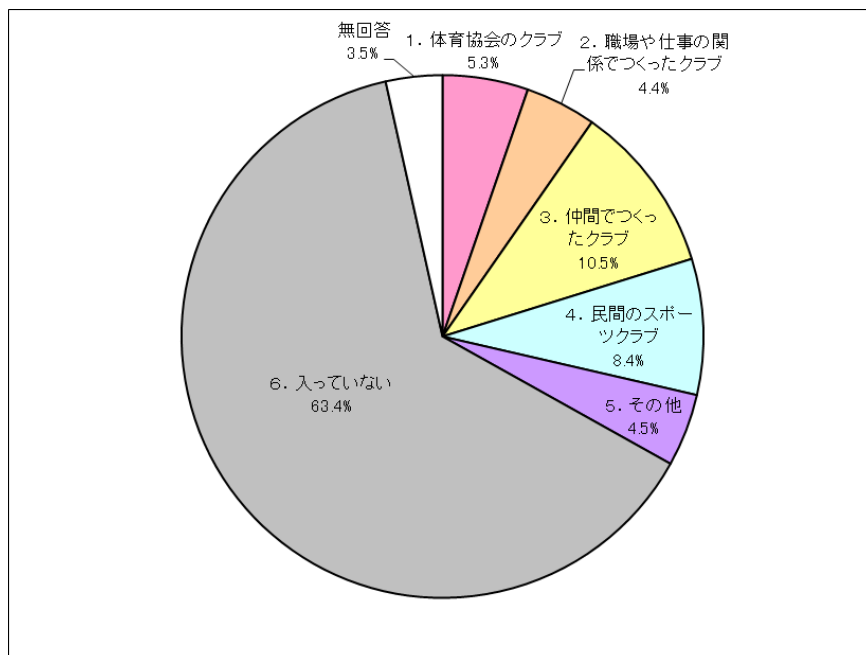
イ スポーツをする相手

表 15 のとおり、運動・スポーツを「自分一人 (37.8%)」「友人 (33.3%)」とおこなうという回答が大半を占めています。また、表 16 によると「仲間で作ったクラブ (10.5%)」「民間のスポーツクラブ (8.4%)」が上位を占めており、仲間やサークル等のコミュニティで活動していることが伺えます。しかし、「入っていない」が 63.4%を占めており、国は繋がった活動を推進しており、公民館活動やスポーツクラブ 21 等のクラブ活動への加入を促進することが望まれます。

▼あなたは、主に誰と運動・スポーツをおこないましたか。(複数回答可) (表 15)



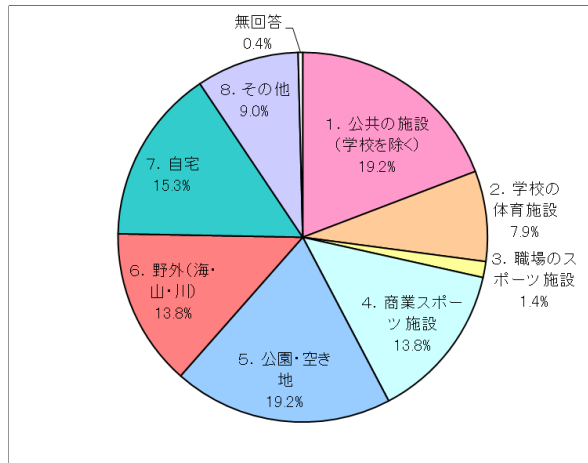
▼あなたは、過去1年間にどのような形態のクラブに加入していましたか。(複数回答可) (表 16)



ウ スポーツをする場所

表 17 のとおり、「公共の施設 (19.2%)」「公園・空き地 (19.2%)」「自宅 (15.3%)」が上位を占めています。また、その他記述によると、「歩道・道路」と記述が多く、散歩・ウォーキングをする方が多いことが分かります。

▼あなたは、過去 1 年間にスポーツを主にどこでおこないましたか。(複数回答可) (表 17)

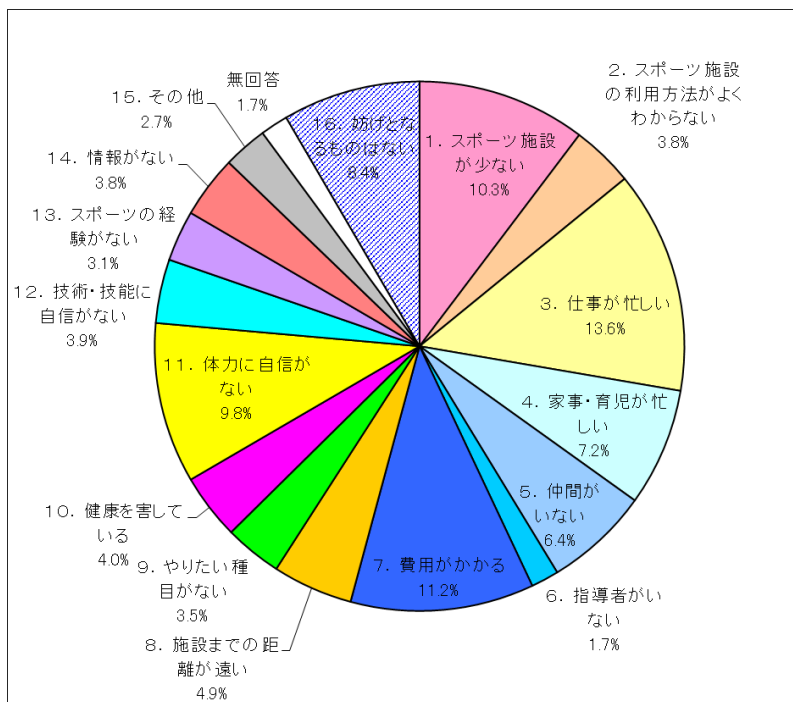


エ スポーツをおこなう時のさまたげ

表 18 のとおり、「スポーツ施設が少ない (10.3%)」「仕事が忙しい (13.6%)」「費用がかかる (11.2%)」「体力に自信がない (9.8%)」が上位を占めています。

年代別にみると、30～50 代が「仕事が忙しい」「家事・育児が忙しい」と回答している人が多く、60 代以上になると「健康を害している」「体力に自信がない」と回答している人が多く占めています。
[P. 52 (10) 参照]

▼あなたが、スポーツをおこなおうとするとときに、困っていることやさまたげになっていることはなんですか。(複数回答可) (表 18)



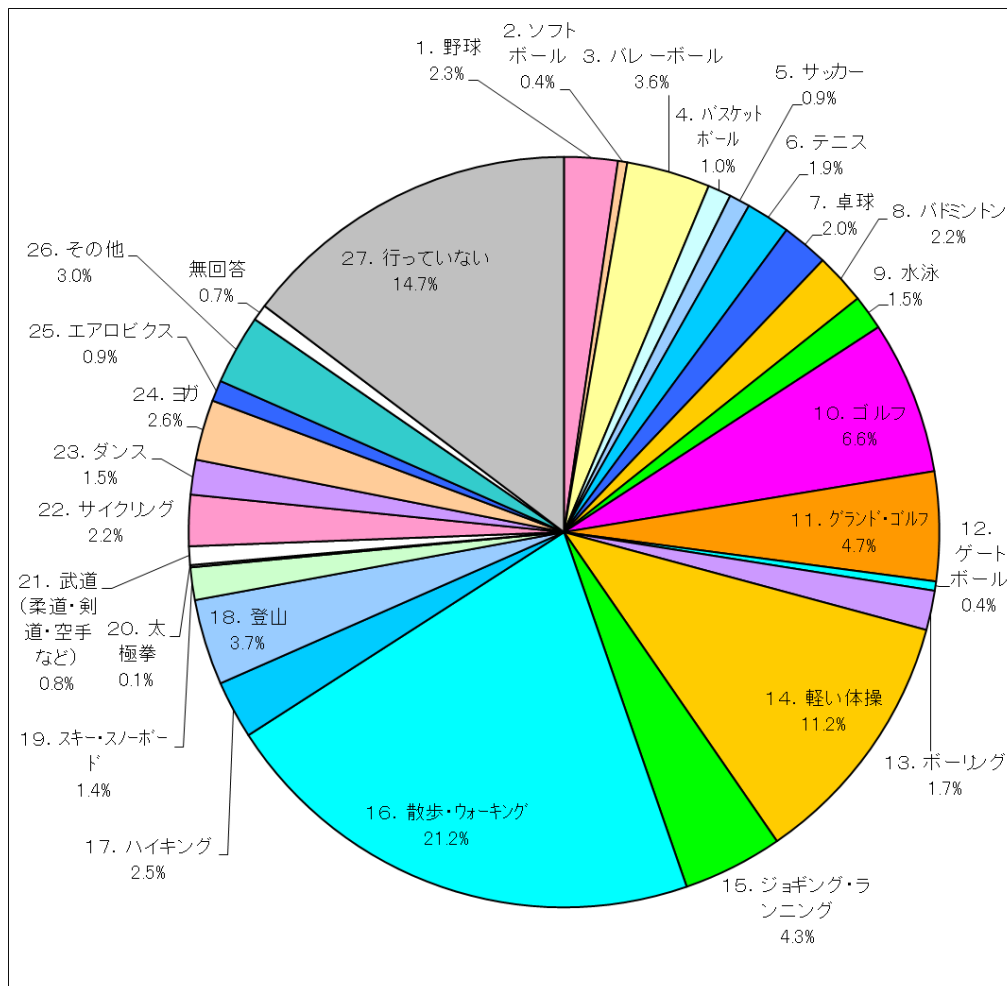
オ よくおこなっているスポーツ

表19のとおりに、「軽い体操（11.2%）」「散歩・ウォーキング（21.2%）」が上位を占めています。

年代別にみると、全ての年代において「軽い体操」「ジョギング・ランニング」「散歩・ウォーキング」が多く占めており、気軽にできるスポーツをおこなっていることが分かります。[P. 49（5）参照]

▼あなたが、過去1年間によくおこなったスポーツの種類はどのようなものですか。（複数回答可）

（表19）

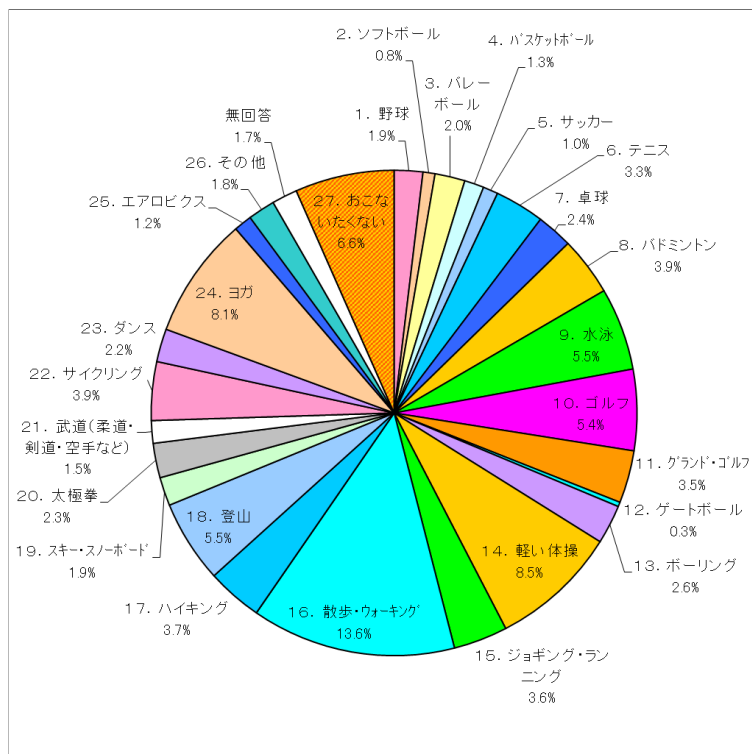


カ 今後おこないたいスポーツ

表 20 のとおり「水泳 (5.5%)」「軽い体操 (8.5%)」「散歩・ウォーキング (13.6%)」「ヨガ (8.1%)」となっています。友人・仲間などの少人数や個人で楽しむことができるスポーツをおこないたいということが伺えます。

年代別にみると、一般的には「バドミントン」「ゴルフ」をしてみたいとの回答が多いですが、30代以上になると「軽い体操」「ジョギング・ランニング」「散歩・ウォーキング」と健康を意識したスポーツをしてみたいということが伺えます。[P. 52 (11) 参照]

▼あなたは、今後どのようなスポーツをおこなってみたいですか。(複数回答可) (表 20)

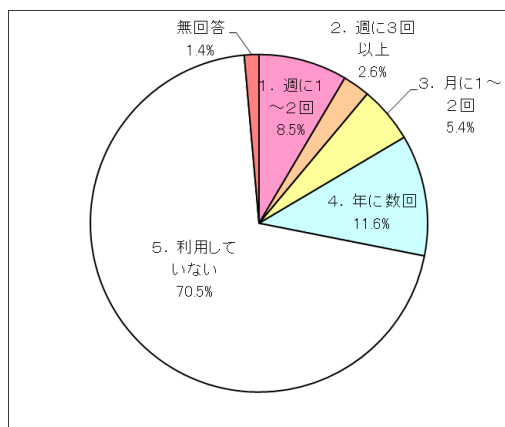


(2) スポーツ施設について

ア 市スポーツ施設の利用回数

表 21 のとおり、「週に1～2回 (8.5%)」「年に数回 (11.6%)」であり、「利用していない (70.5%)」と約7割の方が利用していないと回答しています。

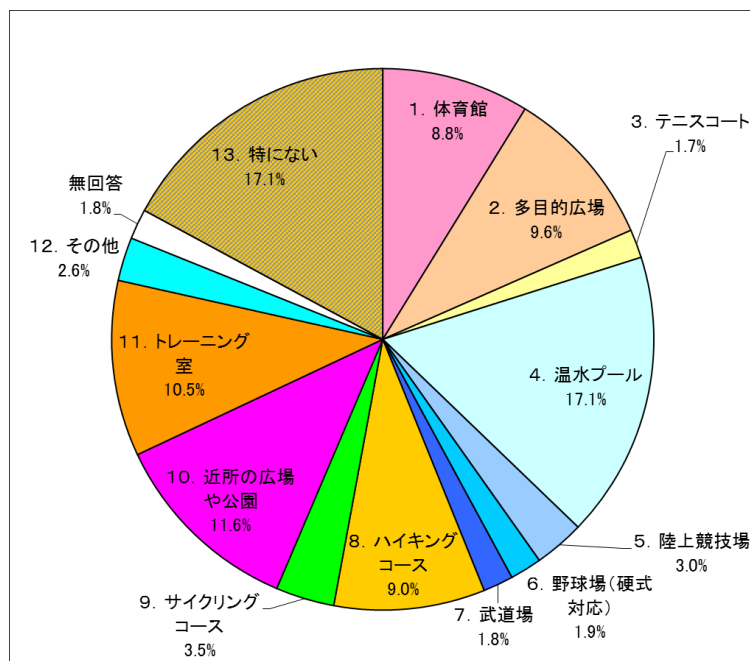
▼あなたは、過去1年間に加西市のスポーツ施設(学校施設を含む)をどの程度利用しましたか。(表 21)



イ 体育施設の整備に関する要望

表 22 のとおり、整備してほしいと要望が多かった「温水プール（17.1%）」「近所の広場や公園（11.6%）」「トレーニング室（10.5%）」が上位を占めており、複合施設として整備を考えていかなければなりません。また、自由記述から総合体育館の建設の要望が多く占めています。しかし、これらは多額の費用を要することから、市の財政状況を踏まえながら検討する必要があります。

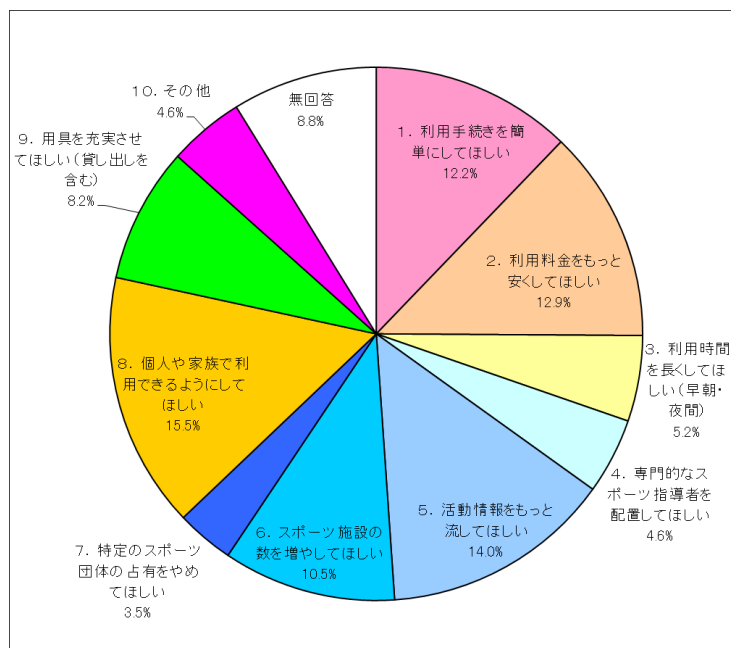
▼加西市に、今後特に整備してほしいと思う施設は何ですか。（複数回答可）（表 22）



ウ 体育施設の利用に関する要望

表 23 のとおり、「利用手続きを簡単にしたい（12.2%）」「利用料金をもっと安くしてほしい（12.9%）」「活動情報をもっと流してほしい（14%）」「個人や家族で利用できるようにしてほしい（15.5%）」という要望が多く、施設の利用方法や情報を発信していく必要があります。

▼加西市のスポーツ施設について望むことは何ですか。（複数回答可）（表 23）

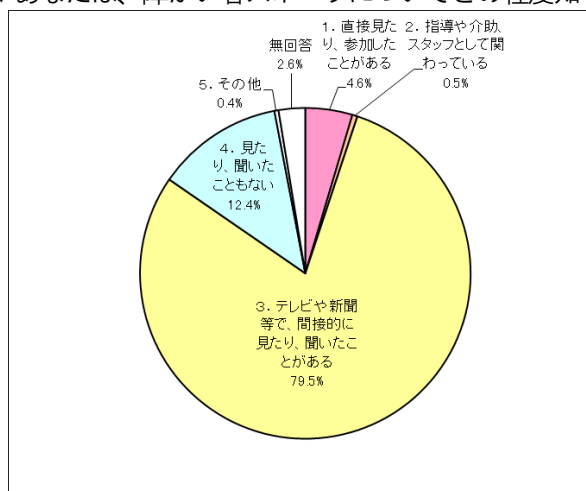


(3) 障がい者スポーツについて

ア 障がい者スポーツの認知度

表 24 のとおり、「テレビや新聞等で、間接的に見たり、聞いたことある」が 79.5%と大半を占めています。しかし、「直接見たり、参加したことがある (4.6%)」「指導や介助、スタッフとして関わっている (0.5%)」と割合が低く、市民が実際に障がい者スポーツに触れる機会が少ないことが伺えます。

▼あなたは、障がい者スポーツについてどの程度知っていますか。(表 24)



イ 障がい者スポーツの普及

表 25 のとおり、ハード面では「既存スポーツ施設のバリアフリー化 (16.5%)」「障がい者スポーツ施設の整備 (14.9%)」と約 30%を占めています。より多くの市民が安全で安心して気軽に利用できる施設のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化の整備が必要となります。

また、ソフト面では、「障がい者が楽しめるスポーツの開発及び普及 (9.6%)」「障がい者スポーツ指導員の養成 (10%)」とスポーツ推進委員会が普及しているニュースポーツの周知及び展開が大切になってきます。また、障がいの特性に応じた適切な支援・指導ができる指導者の養成・確保が望まれます。

▼あなたは、障がい者がよりスポーツをおこなうためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可) (表 25)

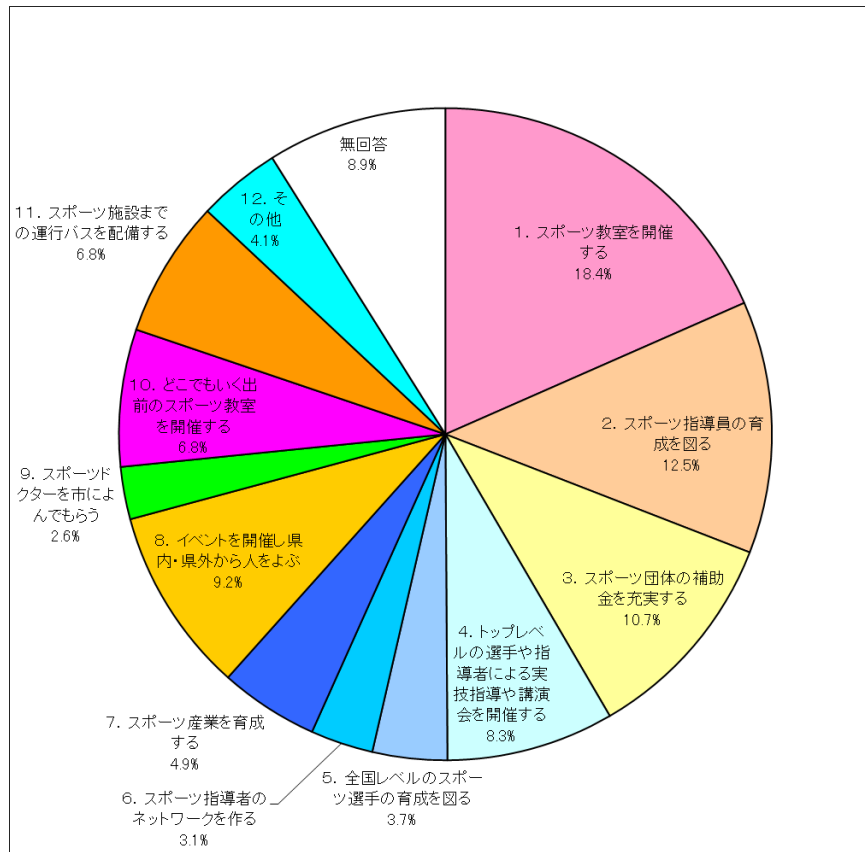


(4) スポーツ行政について

ア スポーツ行政に望むこと

表 26 のとおり、「スポーツ教室を開催する (18.4%)」「スポーツ指導員の育成を図る (12.5%)」「スポーツ団体の補助金を充実する (10.7%)」「イベントを開催し県内・県外から人をよぶ (9.2%)」が上位を占めています。各種スポーツ教室を開催し、スポーツをするきっかけができる環境を整え、それらを指導できる指導者を確保していくことが大切です。

▼あなたは、加西市のスポーツ行政に何を望みますか。(複数回答可) (表 26)



イ 運動・スポーツイベントの認知

表 27 のとおり、運動やスポーツイベント、教室を「知らない」と回答した人が 67.4%と大半を占めています。SNS 等あらゆる媒体による情報発信が必要です。

▼あなたは、加西市において開催されている運動やスポーツイベント、教室を知っていますか。(表 27)

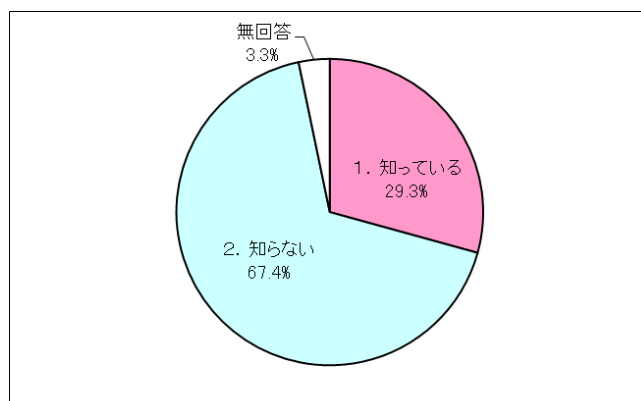


表 28 のとおり、運動・スポーツに関する情報の要望として、「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツの情報（19.5%）」「健康・体力づくり運動（18.6%）」が約 20%を占めており、健康を意識した情報の発信が求められています。

その他に、「スポーツ教室・プログラムの案内(16.5%)」「スポーツ大会・イベントの案内(12.3%)」「スポーツ施設の案内（12.7%）」「地域のスポーツクラブやサークル活動や入会案内（10.7%）」とどれも 10%を超える割合を示しています。

▼あなたは、加西市の運動・スポーツに関してどのような情報があればいいと思いますか。

（複数回答可）（表 28）

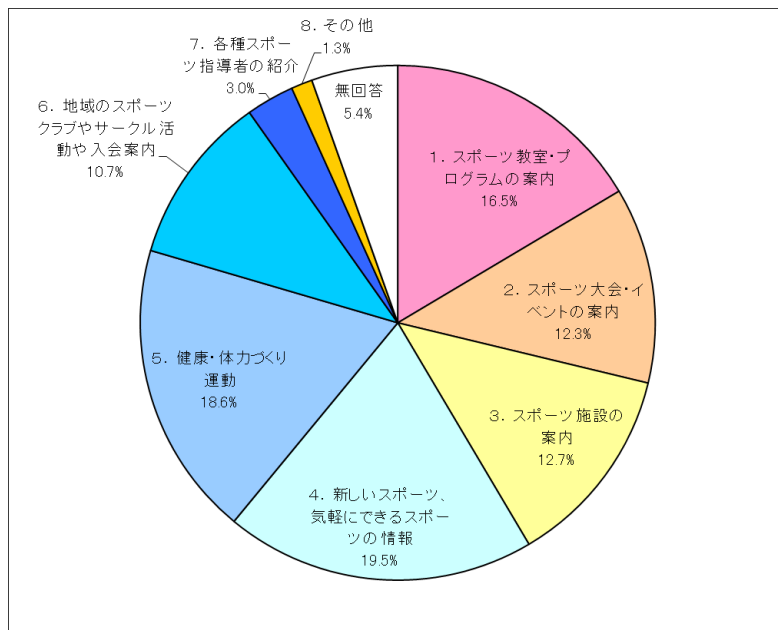
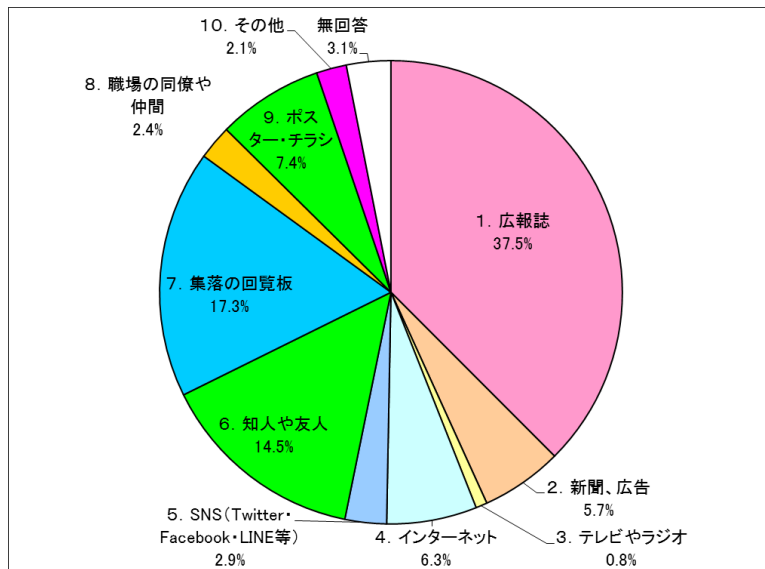


表 29 のとおり、運動・スポーツに関する情報を得るための方法として、「広報誌（37.5%）」が大半を占めています。広報誌には、掲載できる情報が限られるため、これらを踏まえ、運動・スポーツの多角化した情報が求められることから、運動・スポーツに関して一元化した情報の整備が必要になってきます。

▼あなたは、加西市の運動・スポーツに関する情報をどのようにして得ていますか。

（複数回答可）（表 29）

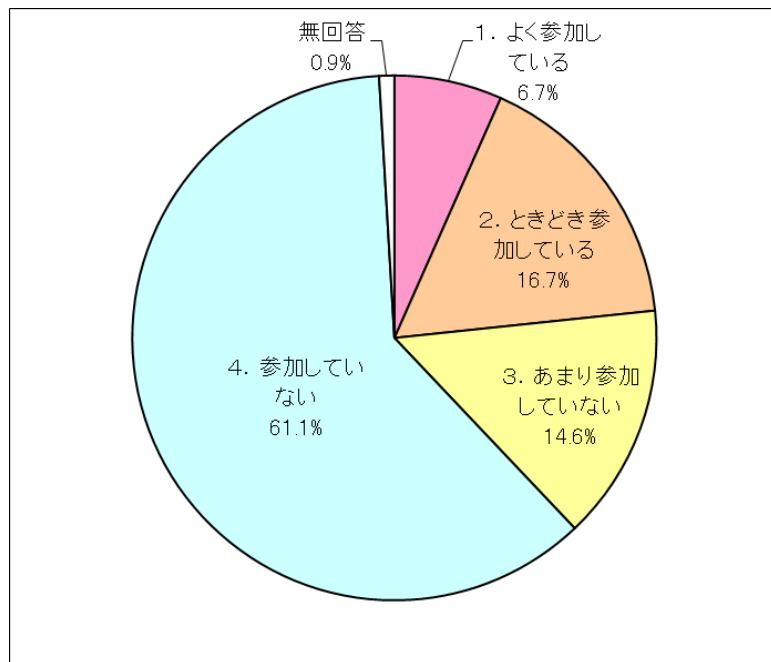


(5) 地域スポーツ活動について

ア 地域のスポーツ行事への参加

表 30 のとおり、「よく参加している (6.7%)」「ときどき参加している (16.7%)」「あまり参加していない 14.6%」「参加していない (61.1%)」と約6割の方が地域のスポーツ行事へ参加していないことが分かります。

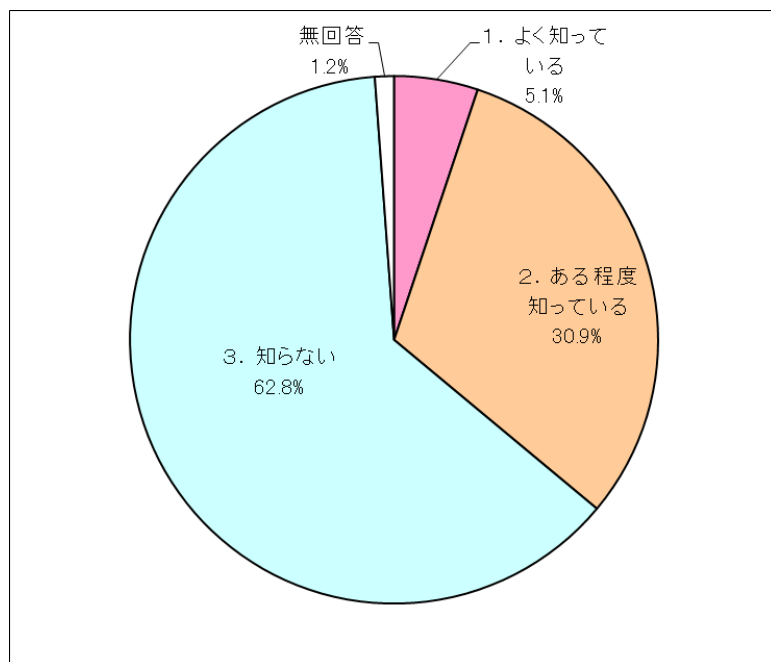
▼あなたは、地域のスポーツ行事にどの程度参加していますか。(表 30)



イ スポーツクラブ21の認知

表 31 のとおり、「よく知っている 5.1%」「ある程度知っている (30.9%)」「知らない (62.8%)」と約6割の方がスポーツクラブ21を知らないと回答しています。

▼あなたは、スポーツクラブ21についてどの程度知っていますか。(表 31)



第4章 総括

1 人口減少からみる本市のスポーツ推進

本市の人口は、減少傾向にあり、それに伴いスポーツをする人口も減少しています。

人口が減少する中で、市内スポーツ関連団体と協働し、スポーツを実施できる活動の場所を創出し、スポーツ人口を増やし、スポーツの推進を図ることが大切です。また、各種団体においては、会員の減少、スポーツ指導者の高齢化、担い手・後継者不足の解消の解消が必要となっています。

2 本市のスポーツの動向

本市においては、クラブ等に所属せず、個人や友人でスポーツをする人が多く占めています。特に「軽い体操」「散歩・ウォーキング」「ヨガ」等の気軽に且つ一人でできるスポーツをする人が多くを占めており、スポーツを通して健康増進意識が高いことが伺えます。国が推進するクラブ等に所属することをより促進するために、ふるさと創造会議等の地域団体と連携しクラブ等に所属し、繋がりをもったスポーツ活動の体制づくりが求められます。

3 子どものスポーツ推進

これからの本市のスポーツを支える子どもたちには、スポーツをするきっかけを創り、そして、生涯に渡ってスポーツをおこない、各種団体に所属することを促すことが大切です。また、子どものスポーツをする場所を損なわないような仕組みが大切です。しかし、子育て世代の保護者の働き方の多様化により、子どもがスポーツを習うことで、送迎などによる保護者の負担が大きくなっています。これらの負担を軽減するための取り組みがより一層求められます。

4 障がい者スポーツの推進

2021年に東京オリンピック・パラリンピックが開催され、障がい者スポーツに対する認知も高まっています。しかし、本市においては、テレビ等のメディアで間接的に見たり、聞いたことがある方が多くを占めています。知っている方は多いですが、体験したことがある人が少なく、実際に障がい者スポーツを体験する機会を創出し、より深く知っていただくことが求められます。また、障がいのある人となない人が一緒に親しめるスポーツ活動の推進が大切です。

5 高齢者スポーツの推進

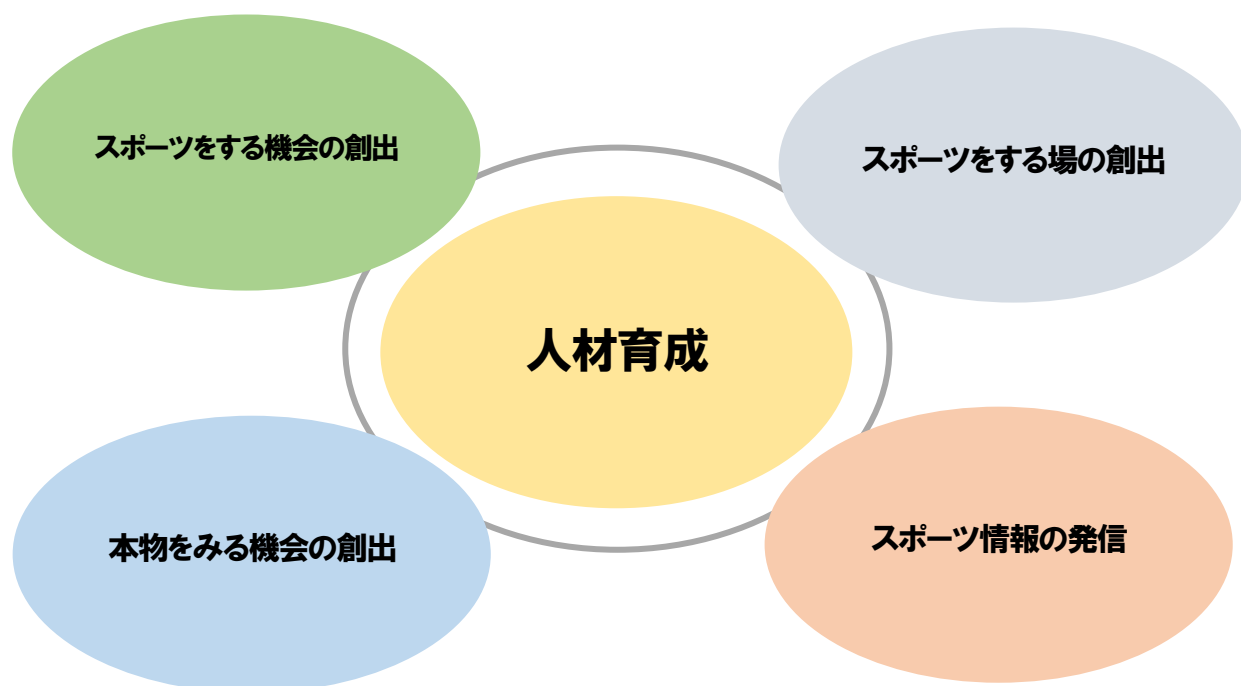
高齢者においては、「体力に自信がない」との回答が多いですが、そのような方にも参加してもらうことができるスポーツをする取り組みが求められます。地域の活動に参加し、一人きりにならない取り組み、また、子どもの頃から生涯に渡ってスポーツをおこない、高齢になっても、スポーツを生きがいとして、平均寿命と健康寿命の差を少なくし、より健康で豊かな生活が送れるような施策を推進することが求められます。

第5章 本市のスポーツ推進施策

前計画より引き続き、第2次計画でも「しょうがいスポーツ応援都市・KASAI」を推進していきます。これは、市民誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツ活動ができる社会を実現するために基本理念として掲げ、「しょうがいスポーツ」とは、障がい者を含めた全ての市民が一生に渡り、スポーツに親しむことを意味し、市民のスポーツ活動を推進するものです。

第2次計画では、「しょうがいスポーツ応援都市・KASAI」実現のためにスポーツ等に関連する団体に対しヒアリング調査を実施し、各種団体で懸念されている「人材育成」に注力していきます。この人材育成は、指導者を養成するための講習をおこなうだけでなく、一生にわたりスポーツをするためのきっかけ・環境を整備していくものです。子どもの頃から、一生続けることができるスポーツをすることで、高齢になってもスポーツを生きがいとし、健康で豊かな生活を送り、そして地域に愛着を持つことができるような環境を整備し、次の世代を担う子どもたちがまたその次の世代を指導し、循環する仕組みを整え、人材育成と兼ね合わせて相乗効果を狙います。

この人材育成を行い、市民誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツ活動ができる社会「しょうがいスポーツ応援都市・KASAI」を実現していきます。



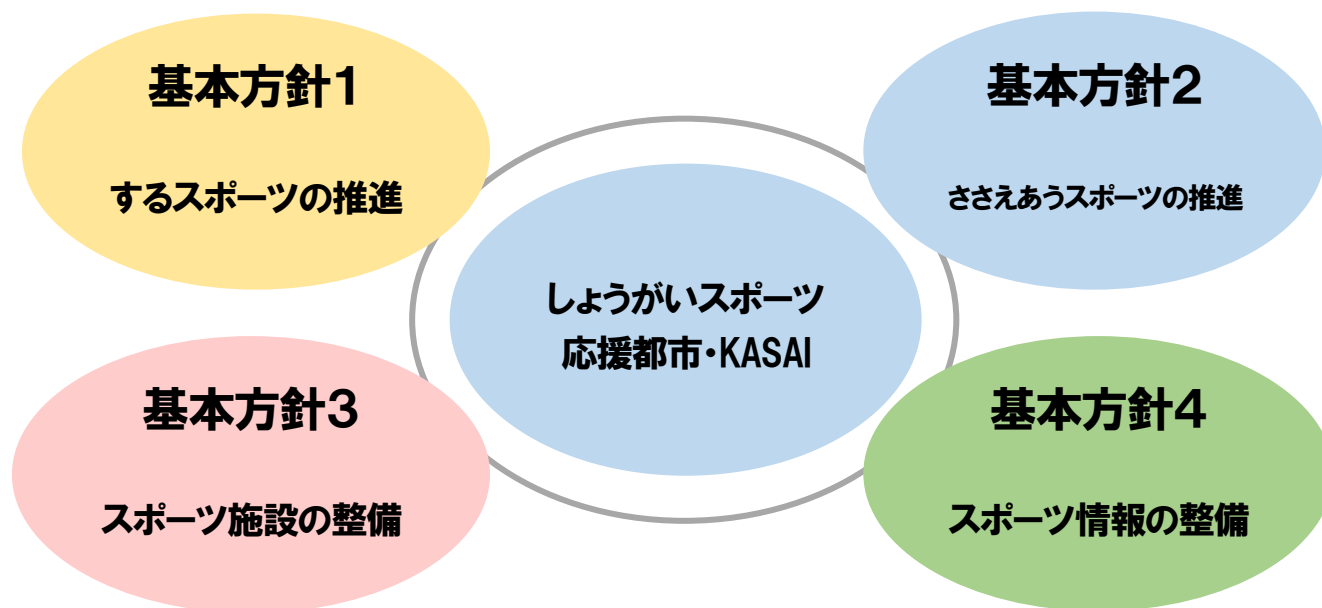
1 推進のための施策体系

各種団体等や市民意識調査の結果をもとに、加西市が今後 10 年間で推進していく施策ごとの具体的な取組内容は、4つの基本方針に基づき7つの施策を掲げて推進していきます。

▼施策体系（表 32）



2 推進のための施策方針ごとの取組内容



スポーツクラブ 21 加西市連絡協議会交流会



ワールドマスターズゲームズ 2021 関西テニス教室

基本方針1 するスポーツの推進

スポーツには、競技とは別に健康維持・仲間づくりなど様々な目的があります。スポーツをすることにより、人生の生きがいや健康増進など、スポーツはいつの時代でも私たちの生活に無くてはならないものです。加西市では、「するスポーツの推進」により、運動・健康・体力の面からスポーツをする人口を拡大し、市民ニーズを反映したスポーツをする機会を創出し、市民誰もが「いつでも・どこでも・いつまでも」スポーツ活動ができるように努めます。

施策方針1 健康なまちづくりの推進

年代・体力・生活様式などライフスタイルや全ての世代の人々がスポーツ活動を通じ、健康で豊かな人生を歩みたいと思うことは誰もが願うことです。スポーツをすることで日々の生活の充実に繋げ、健康を意識し、充実した日々を送っていただけることを目指します。

取組	取組内容	取組主体
① スポーツによる健康・体力づくりの推進 拡充	スポーツによる健康・体力づくり関連機関等との連携・協力により運動に関する助言などを受け、介護予防等に繋がります。また、健幸ポイント事業等、市民が広く参加できるような健康づくり活動の機会を創ります。	文化・観光・スポーツ課 健康課
② 高齢者スポーツの推進 拡充	高齢者がいつまでも健康で、いきいきとした生活を送れるよう健康寿命の延伸が望まれています。「いきいき100歳体操」など、高齢者が気軽に参加できる、健康づくりや仲間づくりのきっかけを創出します。	文化・観光・スポーツ課 健康課 長寿介護課

■成果指標

指標	現状値 (令和元年度)	5年後	10年後
①運動ポイント事業参加者数	2,231人	4,000人	4,750人
②かさいいきいき体操設立数	42グループ	48グループ	53グループ

施策方針2 学校教育、スポーツ活動の充実

少子化により、スポーツをする子どもの数が減ってきています。また、全国的に児童・生徒の体力低下が懸念されており、本市においても例外ではありません。子どもたちがスポーツの楽しさや喜びを感じてもらい、チームワーク意識等を育くみ、食を通じた体づくり、生涯を通して健康で楽しくスポーツに親しんでもらうことを取り組みます。

取組	取組内容	取組主体
① 児童、生徒の体力・運動能力の向上 拡充	体育の授業や体を動かして遊ぶことを通して、運動することの楽しさや心地よさを感じることができるよう活動を行うことで、体力・運動能力の向上に努めます。	学校教育課
② 地域の人材を活用・連携した部活動指導の充実 新規	今後、学校だけでは部活動を実施することが難しくなってきます。そのため、地域の力を活用し、部活動の充実を検討します。	文化・観光・スポーツ課 学校教育課
③ 食を学ぶ機会の充実 拡充	健全な食習慣が定着するよう、栄養教諭を中心に、児童生徒に向けた食育・栄養指導を実施し、家庭への普及啓発に努めます。	学校教育課

■成果指標

指標	現状値 (令和元年度)	5年後	10年後
①②外部人材の活用人数	7人	8人	9人
③栄養教諭を中心とした食育指導を実施した学級の割合(実施学級数/全学級数)	74%	85%	85%

施策方針3 地域スポーツの推進

地域におけるスポーツを通じた出会いにより、地域の全ての世代の方々の交流やふれあいを創出することが求められます。地域団体であるふるさと創造会議や地域のコミュニティである公民館を核とした展開をおこなうよう努めます。

また、スポーツクラブ21は、地域スポーツ活動の推進だけでなく、地域コミュニティの再生の担い手としての役割が期待されます。しかし、市内クラブにおいては、会員数が減少傾向であるため、統合・再編を視野に入れ、クラブの継続維持及び活性化に努めます。

子どもにおいては、生涯にわたってスポーツをするきっかけを創出し、体育協会や民間スポーツクラブ等との各種団体と連携し、様々なスポーツに触れる機会を創出し、スポーツを楽しめるように努めます。そして、市内でのスポーツをする人口を増やし、市内の各種団体へ所属することを促進し、相乗効果を図ります。

取組	取組内容	取組主体
① クラブ的スポーツの推進 新規	公民館の登録グループでのスポーツ教室等を開催し、公民館主体でのスポーツをする場を提供します。	文化・観光・スポーツ課 生涯学習課
② 子どものスポーツをする機会の充実 新規・重点	子どもがスポーツを始めるきっかけ作りができる機会を創出し、活動できる環境の整備を進め、スポーツ活動を促進します。	文化・観光・スポーツ課

■成果指標

指標	現状値 (令和元年度)	5年後	10年後
①スポーツに関連する公民館登録グループ数	27 グループ	30 グループ	30 グループ
②スポーツ少年団員数（4月時点）	376 人	375 人	375 人

施策方針4 スポーツに触れる機会の充実

スポーツをみて楽しむことの他に、スポーツをすることが楽しいと思うこと・感動・選手への憧れ・応援など、市民全員がスポーツの価値を分かち合い、「本物をみる機会」、そして子どもたちの夢や希望を育むきっかけづくりを創出します。

また、スポーツツーリズムの取り組みが全国的に展開されています。スポーツツーリズムは、スポーツの参加や観戦を目的に地域を訪れ、スポーツを掛け合わせた観光を楽しむことで、国内旅行の需要拡大等に繋がると考えられます。当市では、グリーンパークトライアスロン in 加西・カサイチ fan ライドのイベント等を開催しており、既存事業の取り組みに際し、市外から加西市へ訪れてもらう仕組みをさらに整え、地域の特性を活かしてスポーツに触れる機会を創出します。

そして、2021 年開催の東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、障がい者スポーツを実際に体験してもらう機会を創出し、より深く障がい者スポーツを知ってもらう機会を創出します。

取組	取組内容	取組主体
① アスリート等の技術に触れる機会の充実 新規・重点	アスリート等の技術に実際に触れることは、競技力の向上に繋がり、夢と希望を与えることが可能となります。そのために、市民に対し、高いレベルのスポーツに触れる機会を創出します。	文化・観光・スポーツ課
② スポーツツーリズムの推進 新規	加西市の地域資源を活かしたスポーツイベントへの市民の参加を促進します。また、観光・スポーツの面で地域を巡り、地域の資源に触れる機会を創出し、地域の活性化を図ります。	文化・観光・スポーツ課
③ 障がい者スポーツの推進 拡充	近年において、ニュースポーツが普及し始め、障がい者スポーツの社会的な認知と理解が深まっています。障がい者スポーツ関連団体等と連携し、障がい者が参加できるスポーツイベントの開催を検討します。	文化・観光・スポーツ課 地域福祉課

■成果指標

指標	現状値 (令和元年度)	5 年後	10 年後
①スポーツ教室開催回数	17回	19回	22回
②スポーツツーリズムイベント参加者数	620人	740人	840人
③ニュースポーツ指導回数	8回	13回	13回

基本方針2 ささえあうスポーツの推進

スポーツをするにあたり、一人ではスポーツをすることはできません。市民一人一人がスポーツをするうえで、自主的にスポーツ活動をする意識醸成やスポーツを教えることの楽しさを知ってもらい、加西市全体でスポーツをささえしていく市を目指します。

そして新たな指導者を発掘するとともに、イベントや運営のサポートにおけるスポーツボランティアを育成するよう努めます。

また、障がい者スポーツの推進のため、障がいの特性に応じた適切な支援・指導ができる指導者の養成・確保に努めます。

施策方針1 人材育成の推進

スポーツとのよりよい出会いを演出し、そのスポーツを続けたいという気持ちにさせることが、指導者の役割の一つであります。新たにスポーツを始めようとする人にとって、質の高い指導ができる指導者の存在は、その後のスポーツ活動に大きく影響します。本市のスポーツ人口を拡大するため、スポーツの楽しさを体感させてくれるような指導者やそれらを支えるボランティアを育成します。

取組	取組内容	取組主体
① スポーツ指導者の技術力向上及び指導者の確保 [拡充・重点]	各団体内における指導者の育成などの充実のため、大学・企業等と連携し、オンライン等による指導者研修会を開催し、指導者の技術力及び指導者の確保に努めます。	文化・観光・スポーツ課
② スポーツボランティアの育成 [拡充]	スポーツイベント等を開催するにあたり、スポーツボランティアの存在はかせません。市民向けに、AEDの操作や熱中症時の対応等の緊急時においても対応できるように講習会を開催します。	文化・観光・スポーツ課
③ スポーツ推進委員の充実 [拡充]	地域におけるスポーツの実技指導やニュースポーツの普及活動に取り組んでいるスポーツ推進委員について、研修会や他団体との指導交流などによるスキルアップを図ります。	文化・観光・スポーツ課

■成果指標

指標	現状値 (令和元年度)	5年後	10年後
①指導者研修会の開催回数	1回	2回	3回
②ボランティア育成会参加者数	19名	30名	30名
③スポーツ推進委員会研修会・他団体との交流会参加回数	3回	4回	5回

基本方針3 スポーツ施設の整備

スポーツには様々な種類がありますが、スポーツをするには場所が必要になってきます。現在加西市にある施設の整備・充実に力を入れて行くのは当然のことですが、さらにスポーツをする場を確保し、スポーツをする機会を創出します。

施策方針1 スポーツをする・みる場の確保

スポーツ施設の整備は、市民のスポーツ振興を図るうえで欠かせないものです。施設を利用できるよう現存の施設については、長寿命化計画を策定し、施設の延命を図り、スポーツをする場所を損なわないように努めます。

また、整備してほしいと要望が多かった複合型の総合体育館の建設を進め、スポーツ活動の中核を担い、また、施設が地域のコミュニティとなるための整備に努めます。

取組	取組内容	取組主体
① 学校体育施設 開放事業の充 実 拡充	小中学校の体育施設は、地域住民の日常的なスポーツ活動の場として利用されています。この施設の開放は継続していくよう努めます。	教育総務課
② 社会体育施設 の充実 新規	加西球場の硬式化等の検討を行うとともに、各種施設の長寿命化計画に基づく施設の充実に努めます。	文化・観光・スポーツ課
③ 総合体育館の 建設に向けて の検討 新規・重点	総合体育館の建設のために、加西市総合体育館整備基本計画（仮称）を策定し、建設に向けて始動します。	文化・観光・スポーツ課

■成果指標

指標	現状値 (令和元年度)	5年後	10年後
①学校体育施設の年間利用者数	276,000人	276,000人	276,000人
②スポーツ施設利用者数	86,848人 (平成30年度)	87,000人 (令和7年)	87,000人 (令和12年)

基本方針4 スポーツ情報の整備

スポーツをするうえで、「いつ・なにを・どこで・だれが」と確認することは必然のことです。しかしその情報が無ければ、スポーツをしたくてもできません。情報がきっかけとなり、コミュニティを創出します。そのため、スポーツ情報を幅広く提供するための取組みを行います。

施策方針1 スポーツ情報システムの整備

スポーツをする人、これからスポーツを始めたい方等へ、情報を必要とする方に対し、スポーツや健康・体力向上に関する情報等の多様化するニーズに応じた情報を提供し、加西市のスポーツ人口を増やします。

取組	取組内容	取組主体
① インターネットを利用した情報の提供 拡充・重点	「いつ・どこで・なにを」を一目で分かるよう、インターネットを利用した情報の提供を行います。そして、市内でのスポーツ関連の情報を一元管理し、会員募集等を行い、スポーツ人口の増加を図ります。	文化・観光・スポーツ課

■成果指標

指標	現状値 (令和2年度)	5年後	10年後
①運動・スポーツイベントの認知度	29.3%	40%	50%

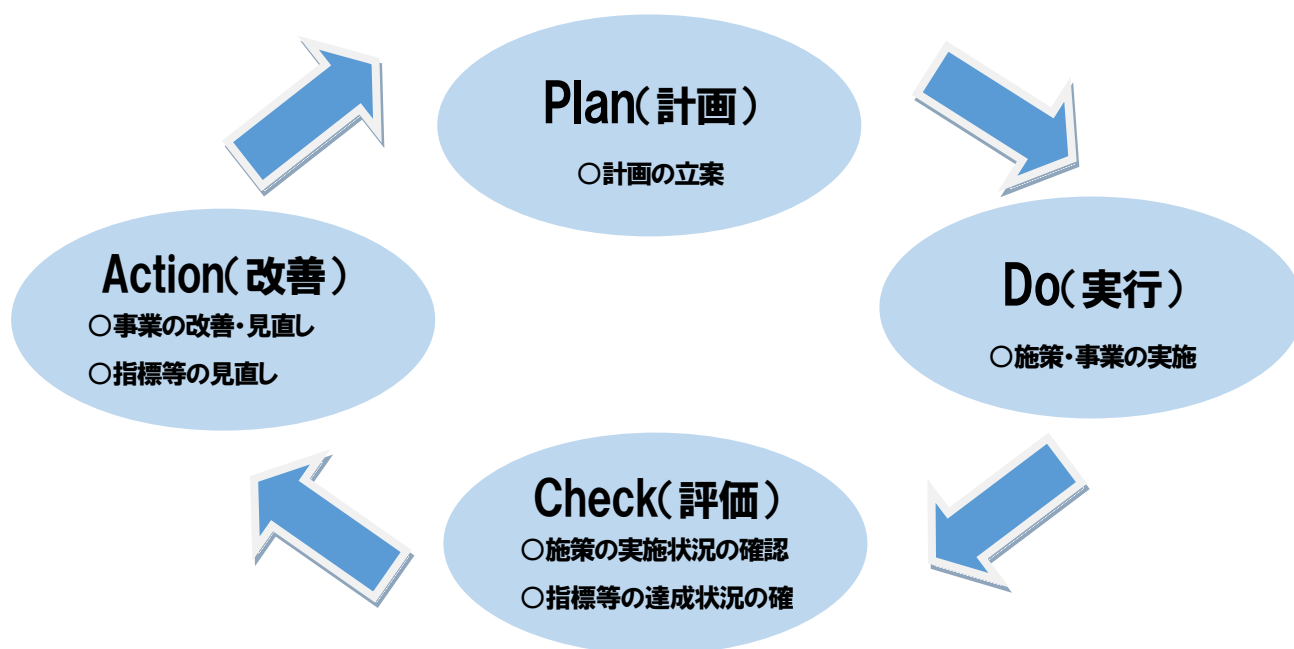
第6章 計画の推進に向けて

1 推進体制の仕組み

加西市スポーツ推進審議会による計画の評価

本計画を効果的かつ着実に推進するため、「PDCA サイクル（計画・実行・評価・改善）」に基づき、継続的に計画の進行管理を行い、施策ごとに設定した「事業・経費」「取組結果と課題」「成果指標」をもとに、現状値や目標値の達成状況を把握・評価します。加西市スポーツ推進審議会においては、それらの取組内容を毎年点検・評価を行います。

また、数値では表すことが難しい施策についても評価するよう留意することとします。



2 市内スポーツ・社会教育団体等との連携・協働

スポーツ施策の実現にあたっては、より一層のスポーツ推進を図るため、スポーツや社会教育団体等の各種団体と連携・協働した取り組みを積極的に進めます。

資料編

- 1 第2次加西市スポーツ推進計画策定検討委員会の開催状況
- 2 加西市スポーツ推進審議会の開催状況
- 3 加西市民スポーツ振興意識調査の結果

1 第2次加西市スポーツ推進計画策定検討委員会の開催状況

月日	内容
7月14日（火）	第1回会議 ・委員会の設置 ・策定に向けたスケジュール確認 ・1次計画の成果検証を踏まえて計画策定に向けた要点の協議 ・2次計画のコンセプトの検討 ・評価シートについて
8月中旬～9月上旬	市内スポーツ関連団体等へのヒアリング調査
8月24日（月）～9月7日（月）	加西市民スポーツ振興意識調査の実施
11月26日（木）	第2回会議 ・計画素案について ・評価シートについて
令和3年1月4日（月） ～1月28日（木）	パブリックコメントの実施
令和3年2月1日（月）	第3回会議 ・パブリックコメントの結果について ・計画素案について ・評価シートについて ・答申について

第2次加西市スポーツ推進計画策定検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 スポーツ基本法（平成23年法第78号）第10条第1項の規定に則り、長期的・総合的な視点から、本市のスポーツ推進の基本方向を示す第2次加西市スポーツ推進計画を策定するため、第2次加西市スポーツ推進計画策定検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は次に掲げる事項について検討、協議、提言、実行等を行うものとする。

- (1) 市の基本課題の抽出
- (2) 前計画の実施状況の確認、評価及び調査票の作成
- (3) 分野別の主要課題のまとめ
- (4) 計画等の行政内部素案作成
- (5) 成果指標案の検討及び設定

(組織)

第3条 委員会は委員長、委員をもって組織する。

2 委員長は、ふるさと創造部長をもって充てる。

3 委員は、別表に掲げる関係課を代表する者で組織する。

(任期)

第4条 委員の任期は、当該事業の審議が終了するまでの期間とする。

(会議)

第5条 事務局は会議を招集し、その運営を行う。

2 委員会は、必要があると認めるときは、各課の長に対し職員の出席及び説明を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の事務局は、文化・観光・スポーツ課において処理する。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年7月1日から施行する。

別表（第3条関係）

関係課	役 職	委員名
ふるさと創造部長	委員長	千石 剛
健康福祉部健康課	委 員	坂口 智康
健康福祉部地域福祉課	委 員	青田 悠希
健康福祉部長寿介護課	委 員	東郷 亮太
教育委員会教育総務課	委 員	宮 睦夫
教育委員会学校教育課	委 員	藤田 亮
教育委員会生涯学習課	委 員	高見 和哉

2 加西市スポーツ推進審議会の開催状況

月日	内容
7月31日（金）	第1回会議 ・委員、事務局紹介 ・会長、副会長の選出 ・第2次加西市スポーツ推進計画の策定について（諮問） ・加西市スポーツ推進審議会について ・策定に向けたスケジュール確認 ・1次計画の成果検証について ・2次計画について ・市民意識調査方法の検討及びアンケート内容の検討について
12月21日（月）	第2回会議 ・計画素案について ・評価シートについて
令和3年2月16日（火）	第3回会議 ・パブリックコメントの結果について ・計画素案について ・答申について
令和3年3月2日（火）	第2次加西市スポーツ推進計画の策定について（答申）

加西市スポーツ推進審議会条例

平成26年3月25日条例第12号

改正

平成27年6月22日条例第22号

加西市スポーツ推進審議会条例

(設置)

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号。以下「法」という。）第31条の規定に基づき、加西市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、法第35条に規定するもののほか、市長の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して市長に答申する。

- (1) 法第10条第1項に規定する地方スポーツ推進計画に関すること。
- (2) スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
- (3) スポーツの指導者の養成及びその資質向上に関すること。
- (4) スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- (5) スポーツ団体の育成に関すること。
- (6) スポーツの技術水準の向上に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(組織)

第3条 審議会委員（以下「委員」という。）は、10名以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) スポーツ・社会教育団体関係者
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) 前各号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集し、会長がその会議の議長となる。

- 2 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(補則)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年6月22日条例第22号抄）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成27年7月1日から施行する。

別表（第3条関係）

◎：会長 ○：副会長

区 分	氏 名	所 属
学識経験者	◎森田 啓之	兵庫教育大学大学院
スポーツ・社会教育団体代表者	○杉本 信彦	加西市体育協会
	後藤 義彦	加西市スポーツ推進委員会
	河合 新一	スポーツクラブ21 加西市連絡協議会
	小東 千亜紀	加西市スポーツ少年団
	増田 優	加西市身体障害者福祉協会
	松岡 勝己	加西市老人クラブ連合会
関係行政機関	伊藤 浩信	加西市小学校体育担当会
	山田 明	加西市中学校体育連盟
市長が適当と認める者	中野 重美	一般公募委員

3 加西市民スポーツ振興意識調査の結果

(1) 調査の概要

【調査地域】 加西市内全域

【調査対象者】 市内在住の18歳以上の市民

【配布数】 2,000人（加西市住民基本台帳より無作為抽出）

【調査方法】 郵送による配布・回収

【調査期間】 令和2年8月24日（月）～令和2年9月7日（月）

(2) 回収状況

配布数	回収数	回収率（％）
2,000	857	42.85％

〈性別〉

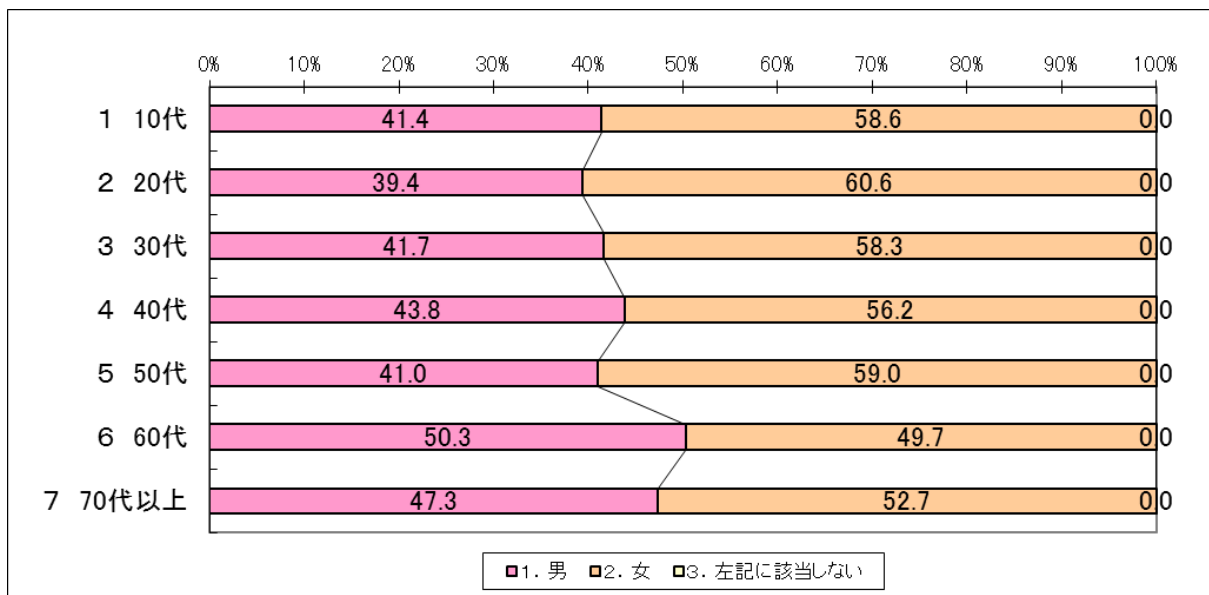
	男性	女性	無回答	合計
合計	379	468	10	857

〈年代別（人）〉

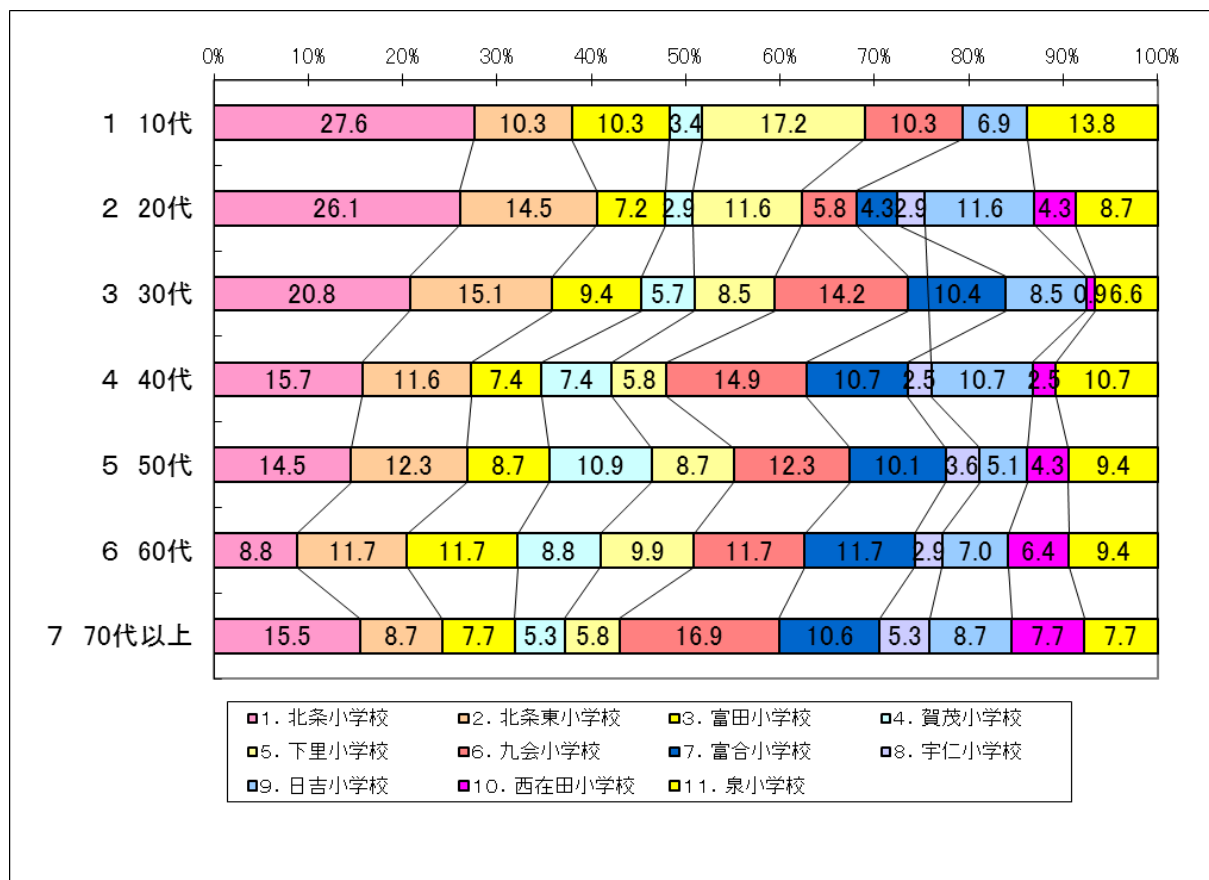
	男性	女性	左記に該当しない	無回答
10代	12	17	0	0
20代	28	43	0	0
30代	45	63	0	0
40代	53	68	0	0
50代	57	82	0	0
60代	86	85	0	0
70代以上	98	109	0	3
無回答	0	1	0	7
合計	379	468	0	10

I あなた自身のことについておたずねします。

(1) (2) あなたの性別、年齢は。

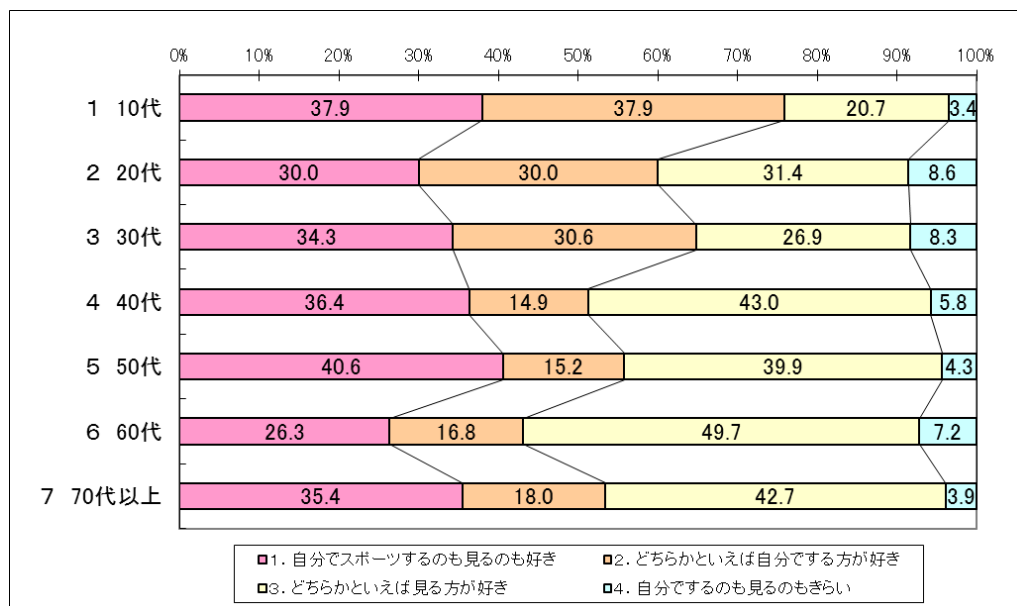


(3) あなたの住んでいる小学校区は次のどれにあてはまりますか。

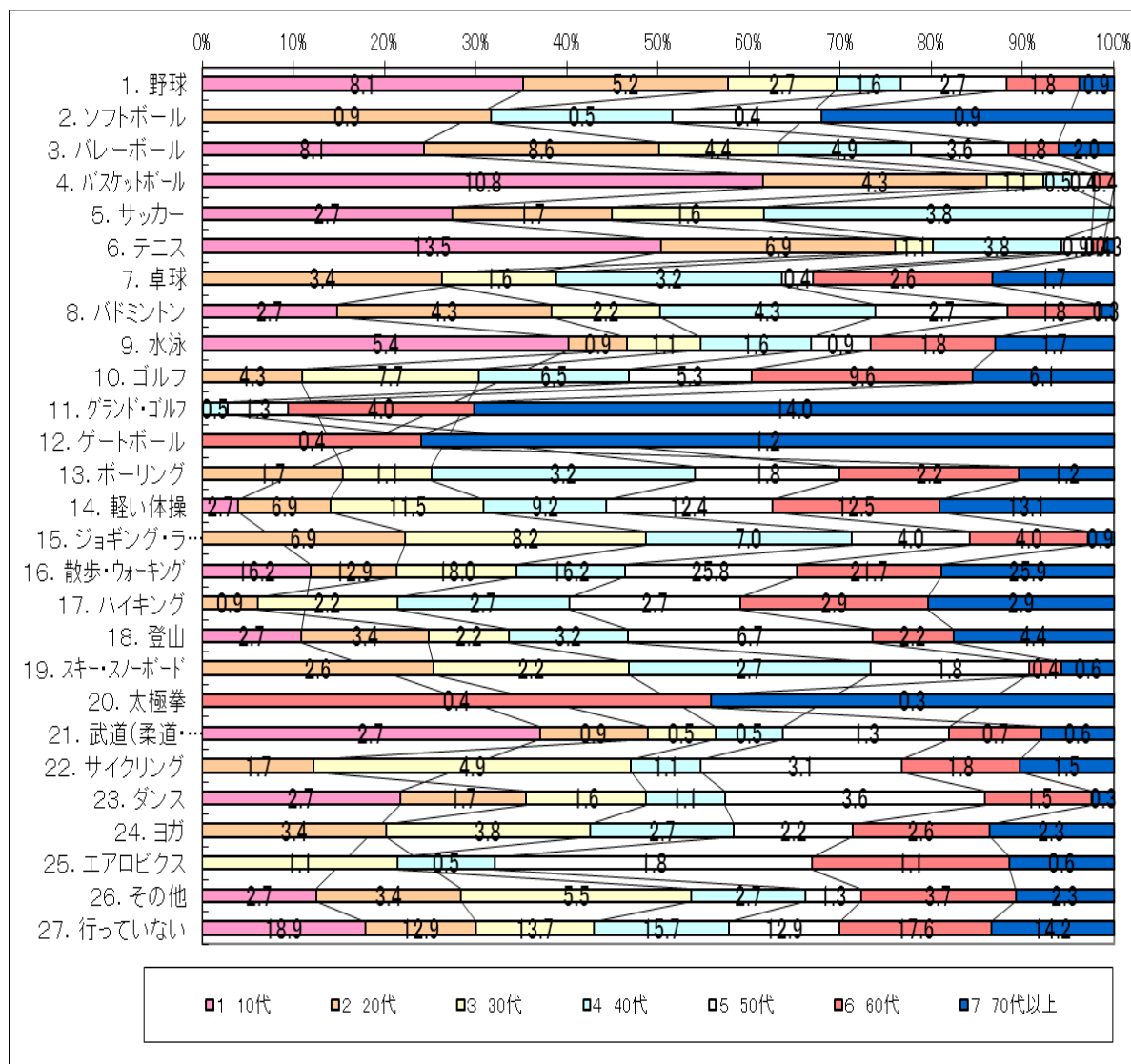


Ⅱ スポーツ活動についておたずねします。

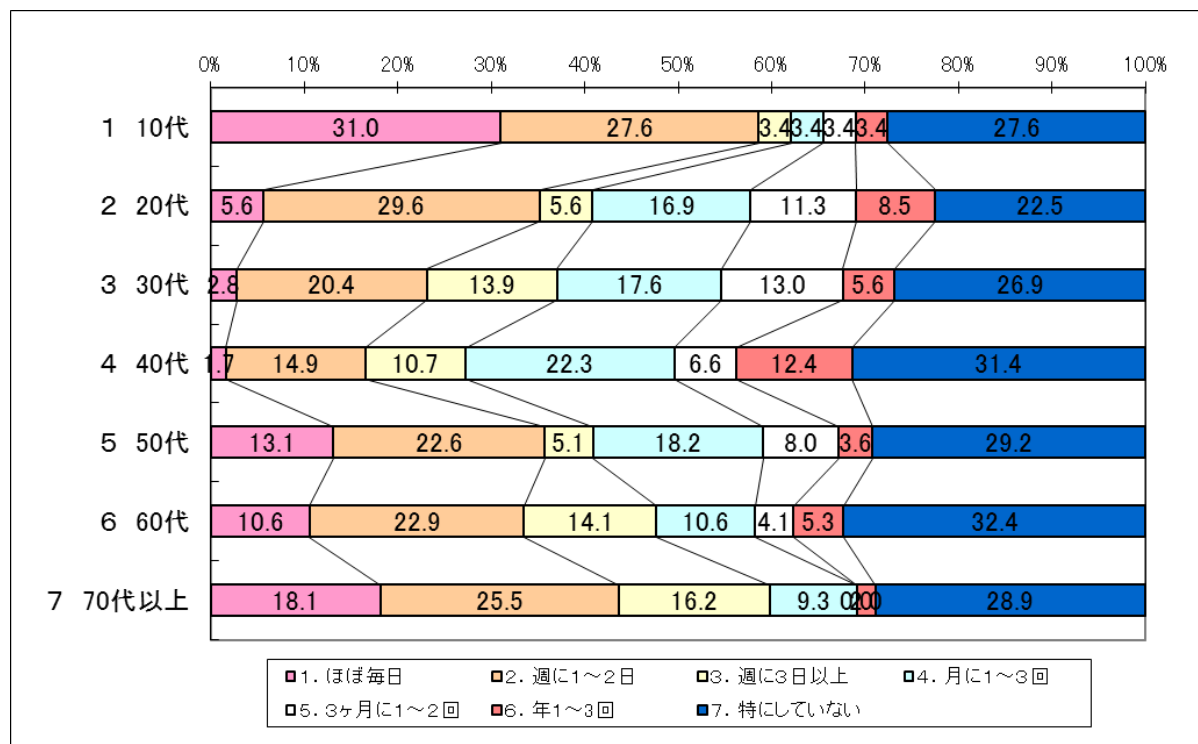
(4) あなたは、運動やスポーツが好きですか。



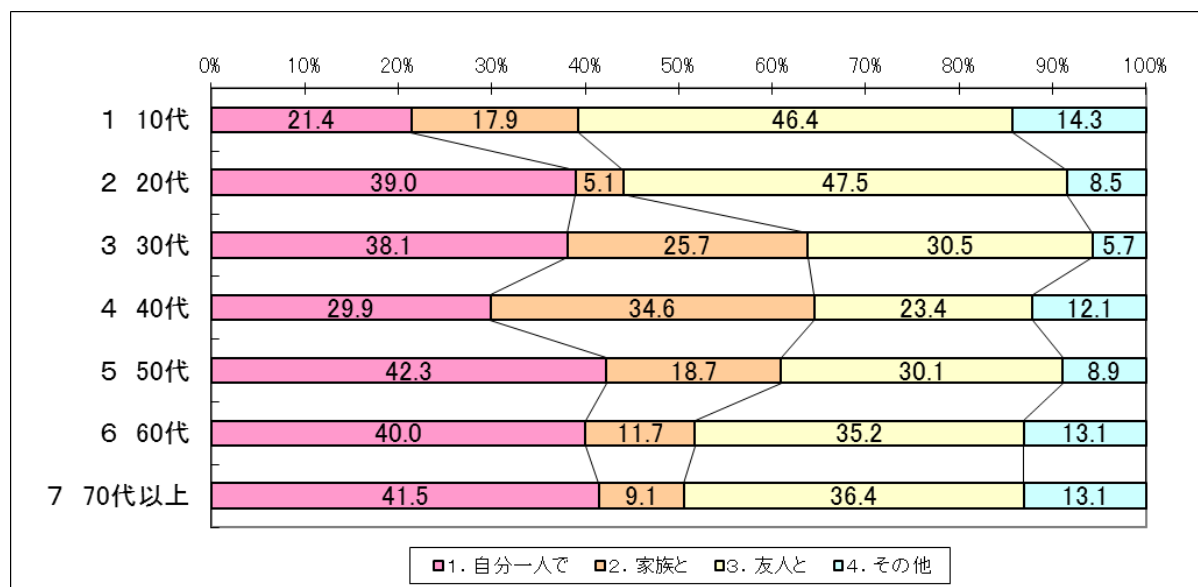
(5) あなたが、過去1年間によくおこなったスポーツの種類はどのようなものですか。(複数回答可)



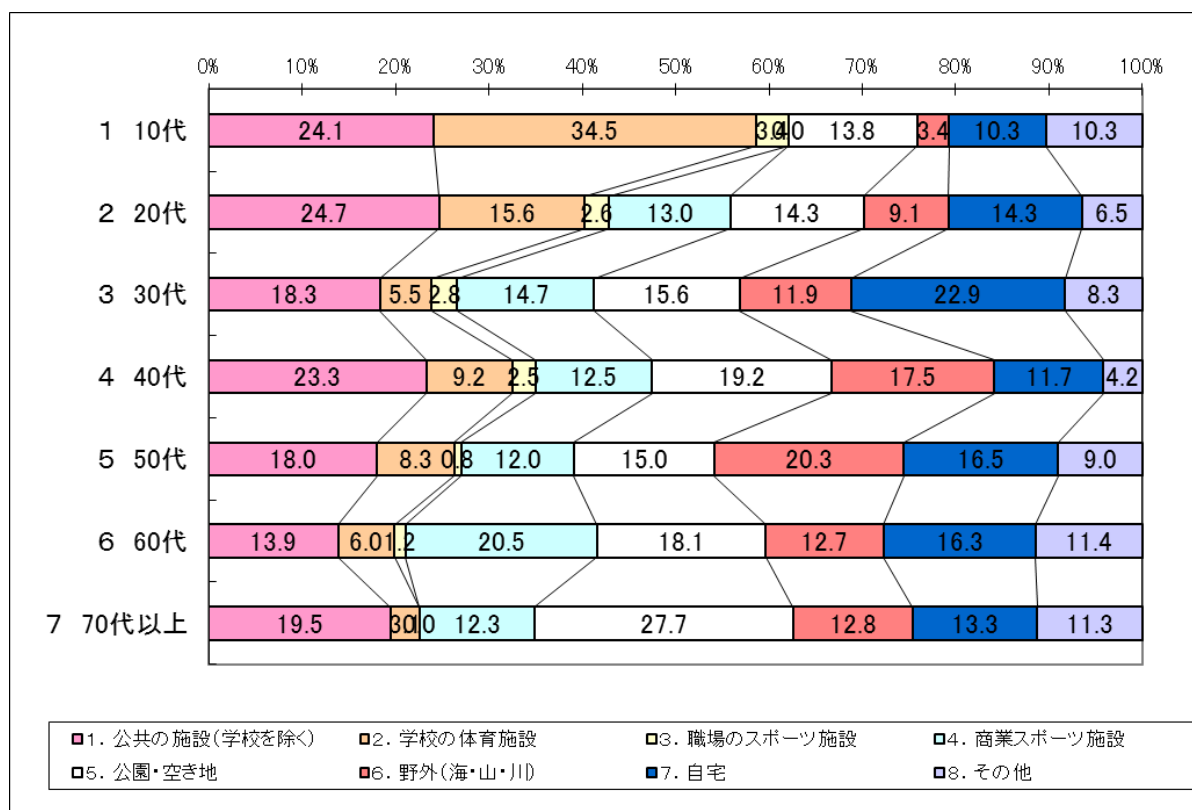
(6) あなたは、過去1年間に何日くらい運動・スポーツをおこないましたか。



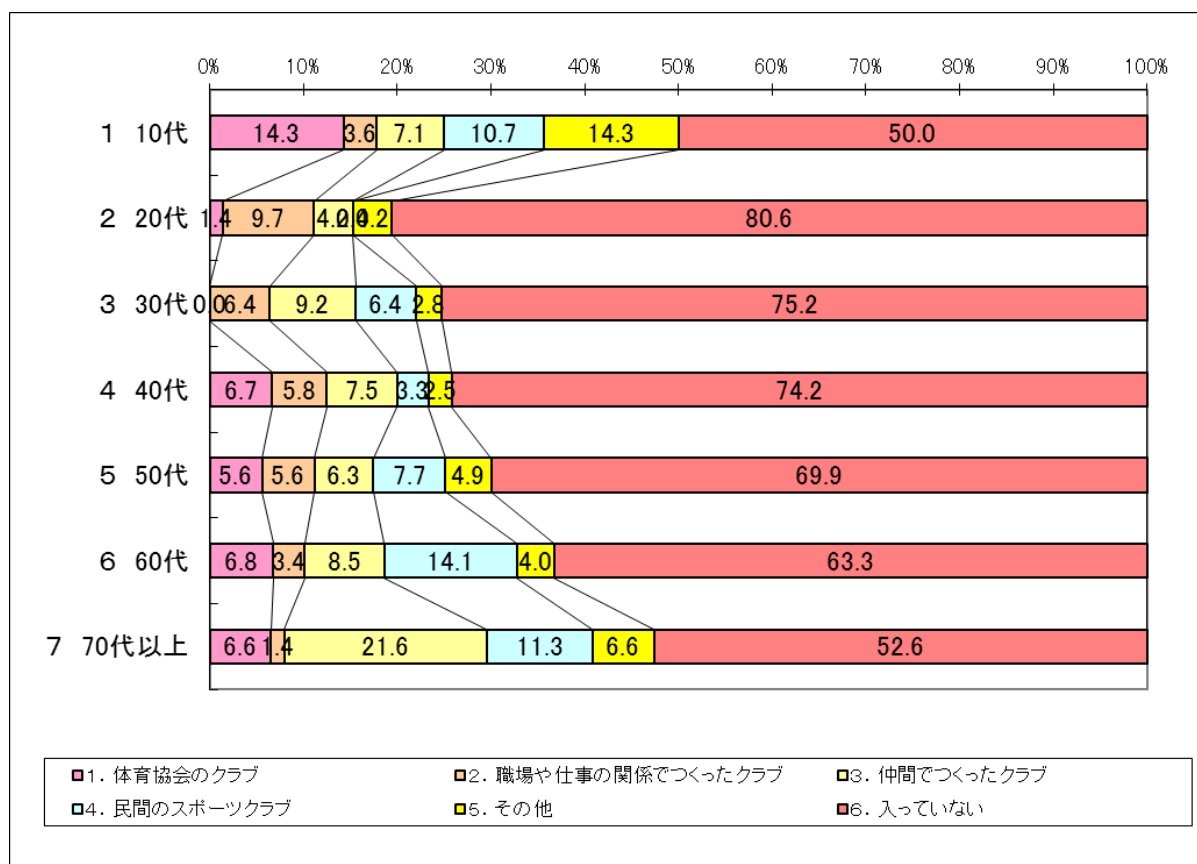
(7) あなたは、主に誰と運動・スポーツをおこないましたか。(複数回答可)



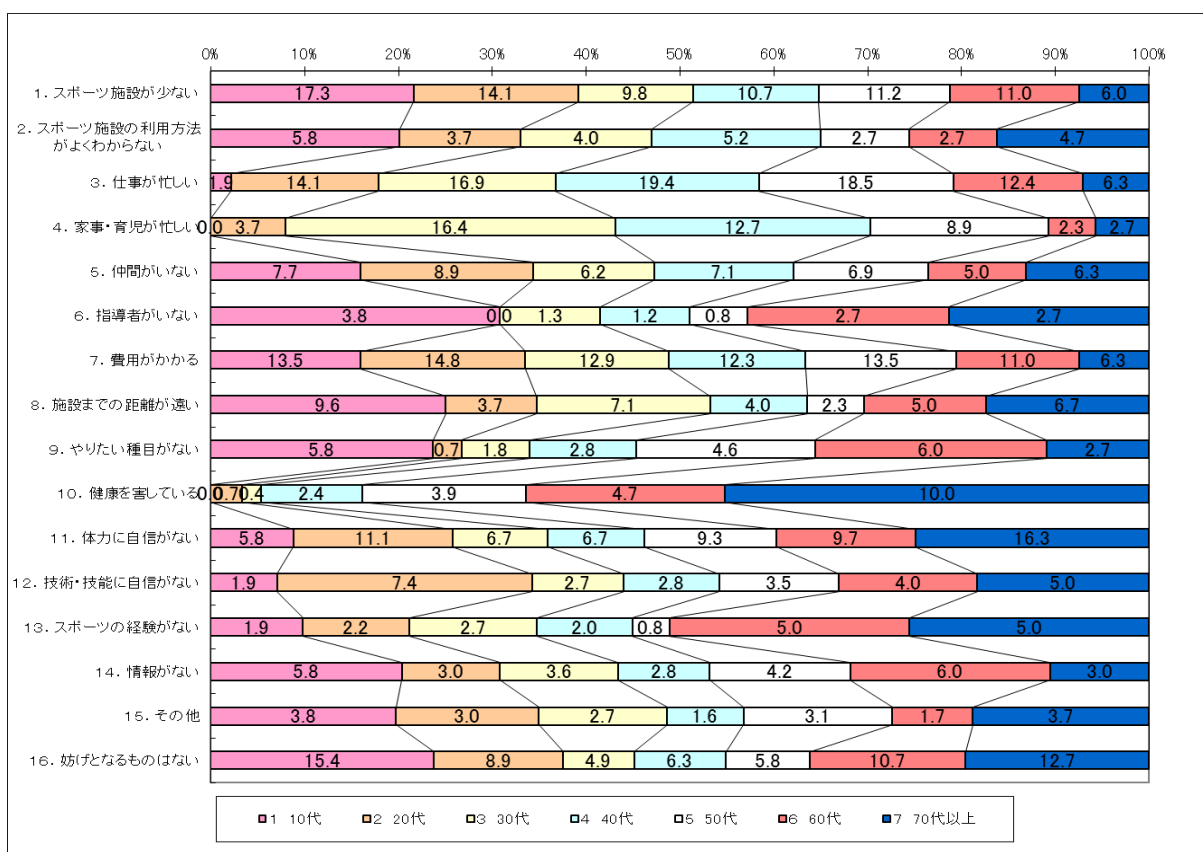
(8) あなたは、過去1年間にスポーツを主にどこでおこないましたか。(複数回答可)



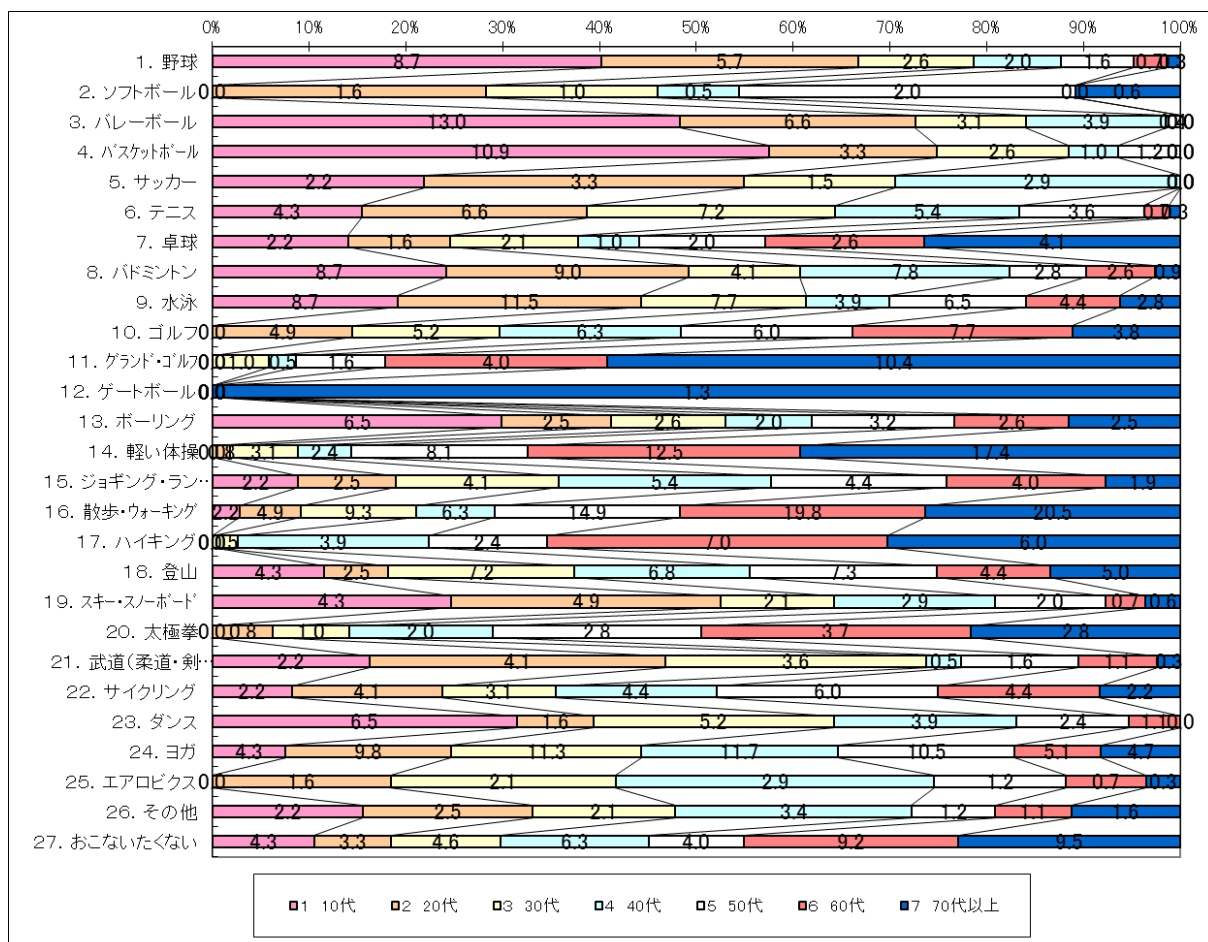
(9) あなたは、過去1年間にどのような形態のクラブに加入していましたか。(複数回答可)



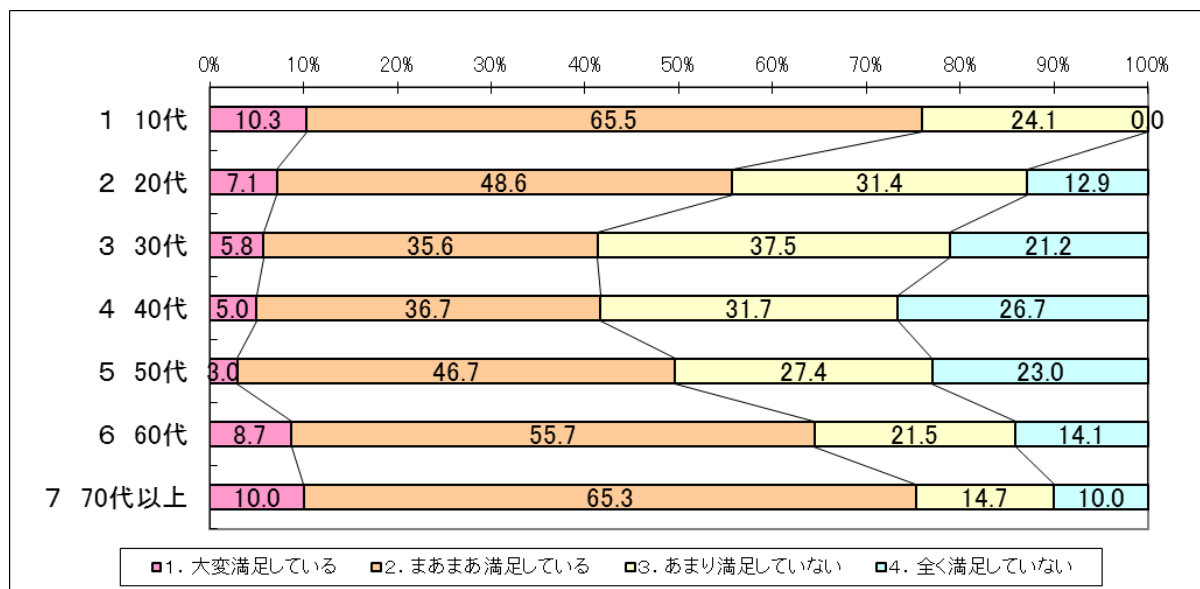
(10) あなたが、スポーツをおこなおうとするとときに、困っていることや妨げになることは何ですか。
(複数回答可)



(11) あなたは、今後どのようなスポーツをおこなってみたいですか。(複数回答可)

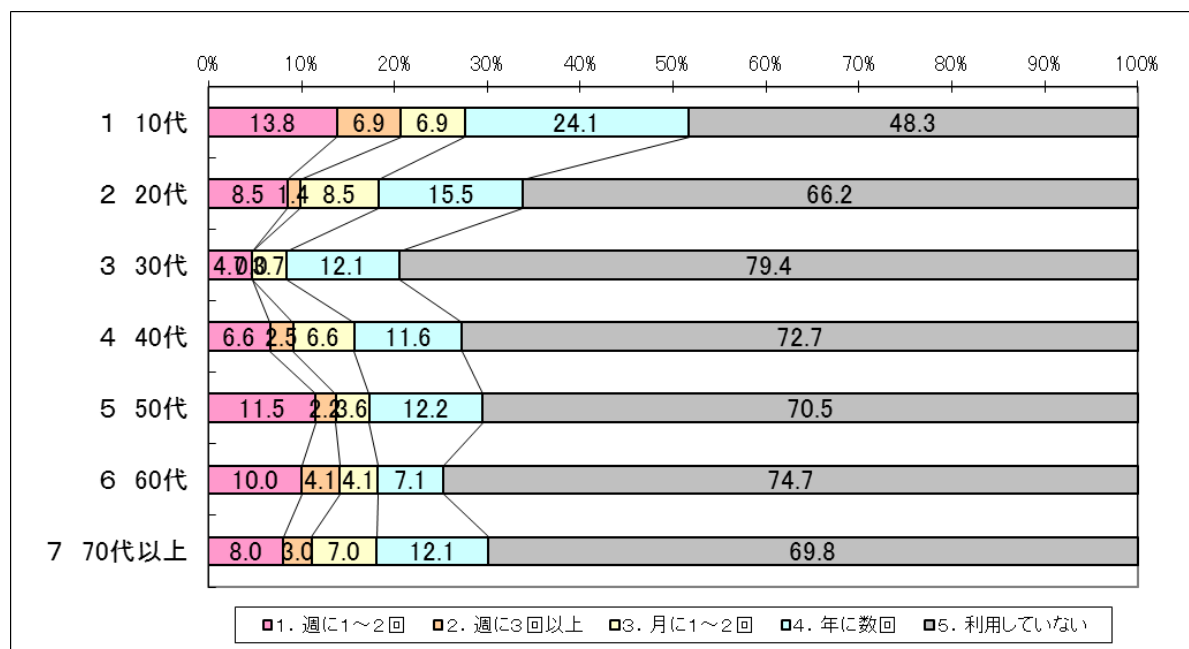


(12) あなたは、現在のスポーツ活動にどの程度満足していますか。

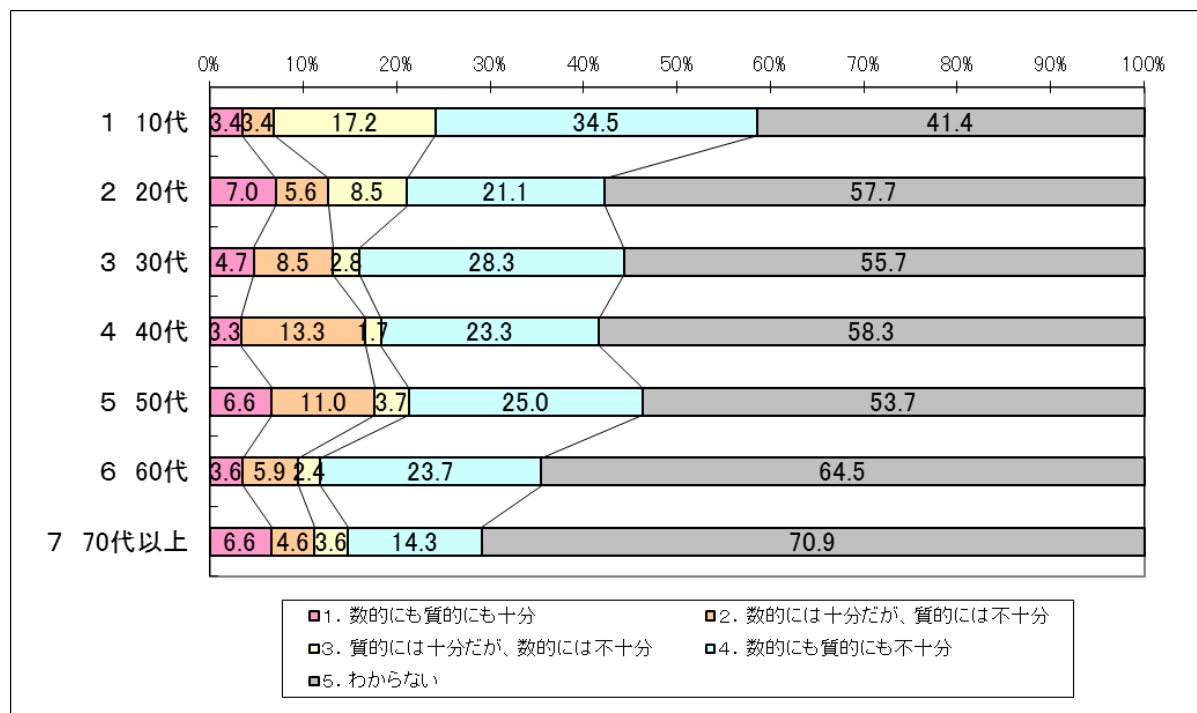


Ⅲ スポーツ施設についておたずねします。

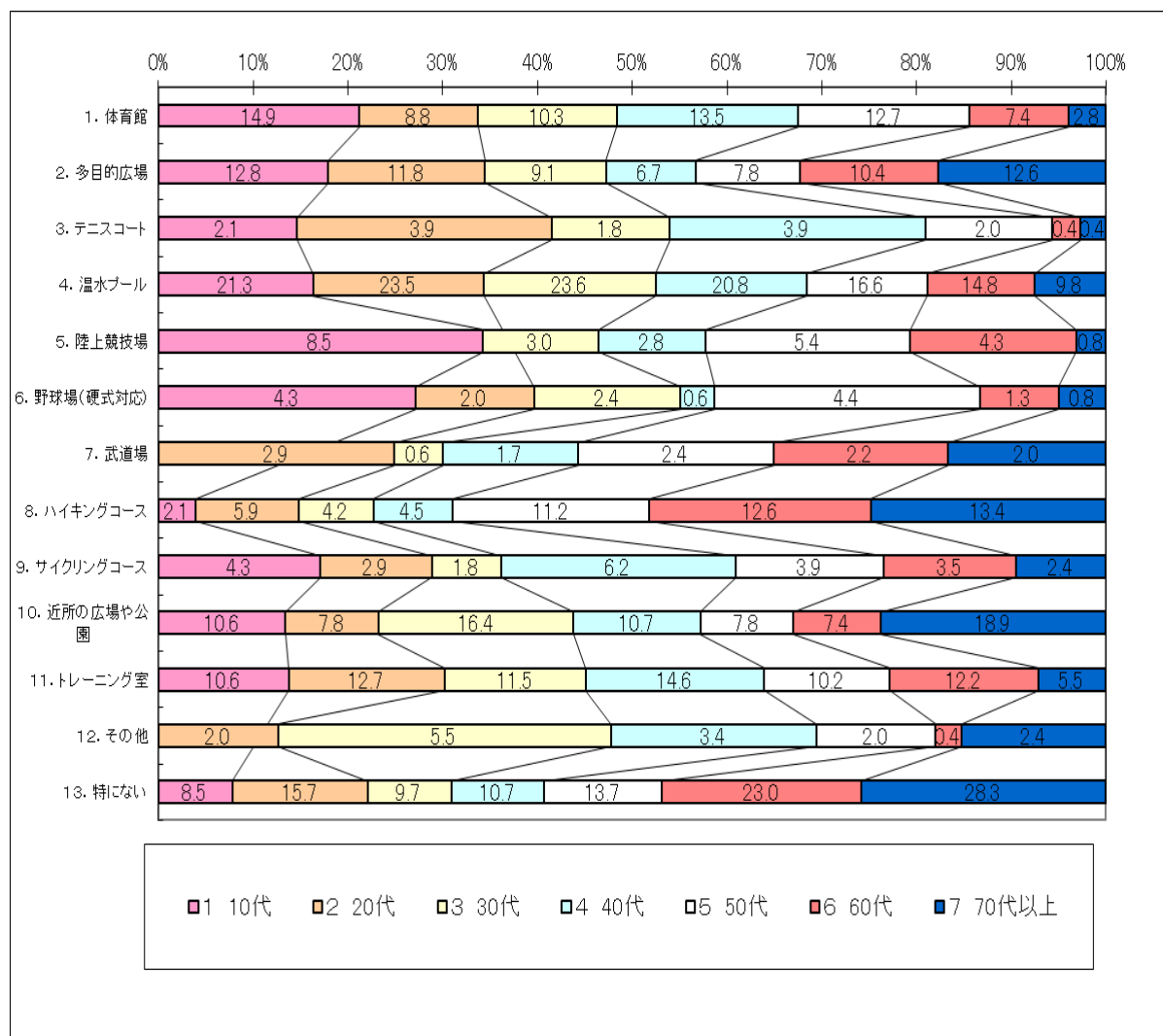
(13) あなたは、過去1年間に加西市内のスポーツ施設（学校施設を含む）をどの程度利用しましたか。



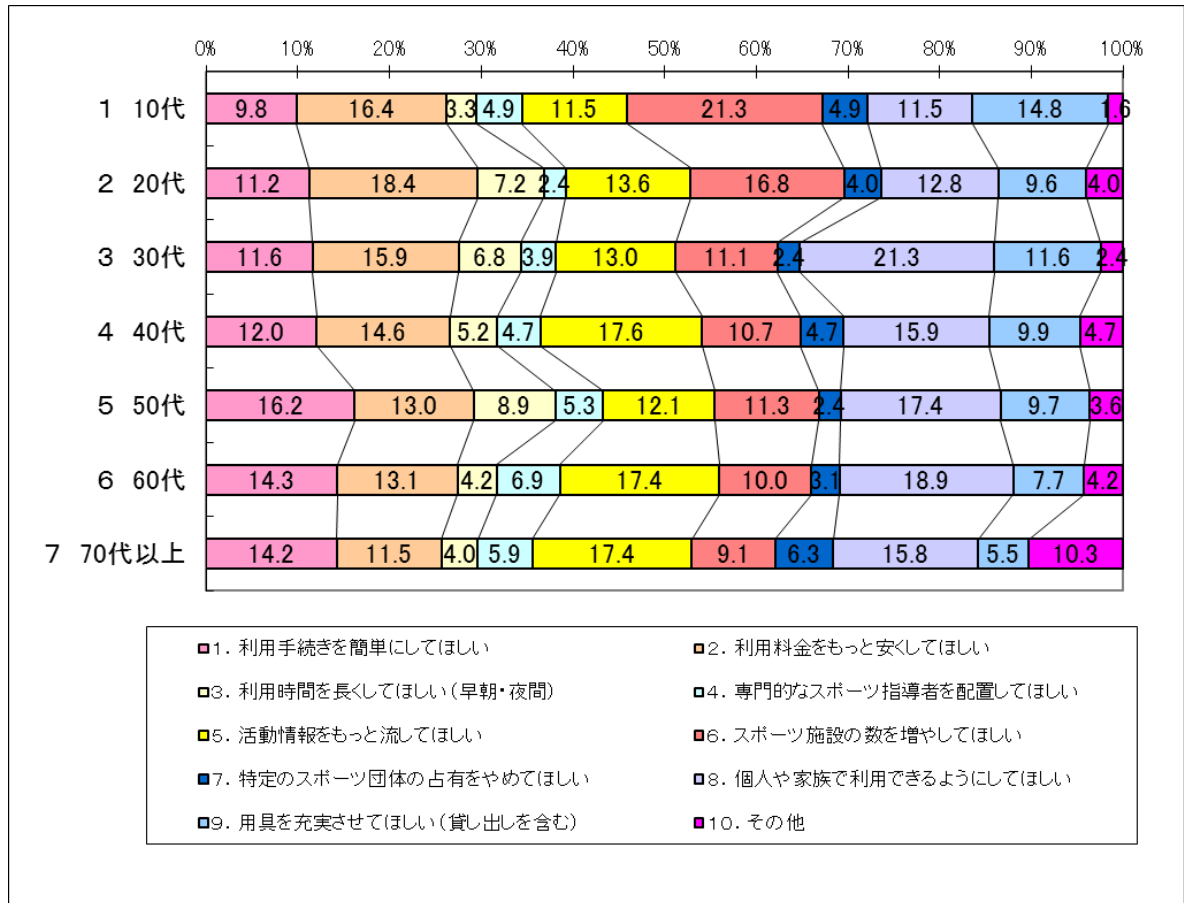
(14) 加西市には、十分な施設がありますか。



(15) 加西市に、今後特に整備してほしいと思う施設は何ですか。(複数回答可)

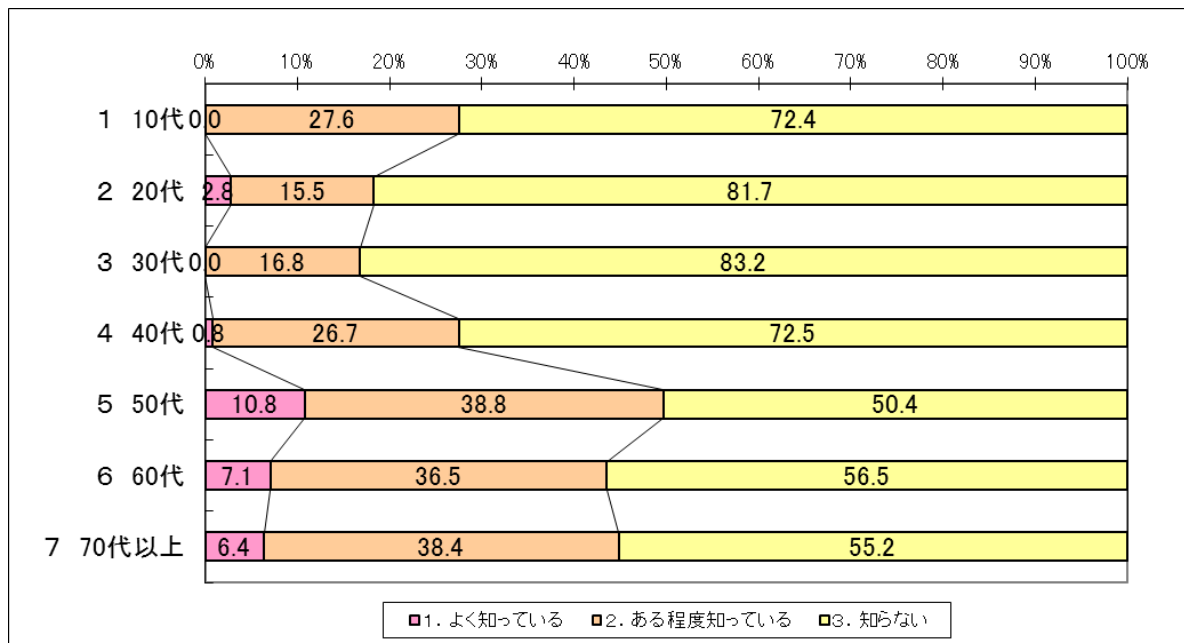


(16) 加西市のスポーツ施設に望むことは何ですか。(複数回答可)

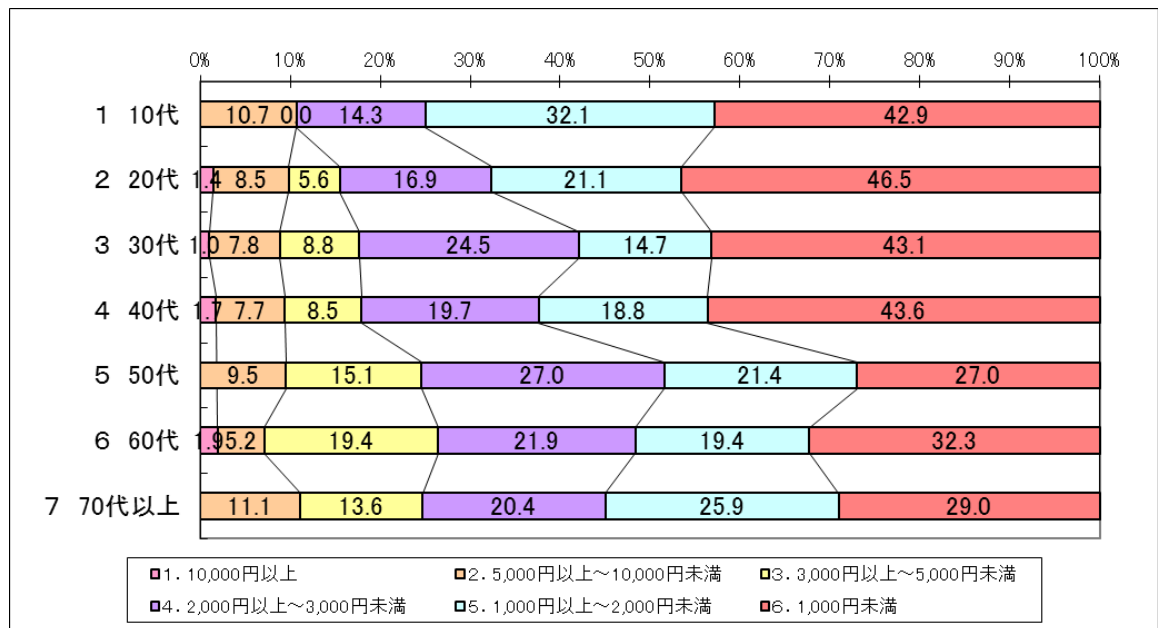


Ⅳ スポーツクラブ21についておたずねします。

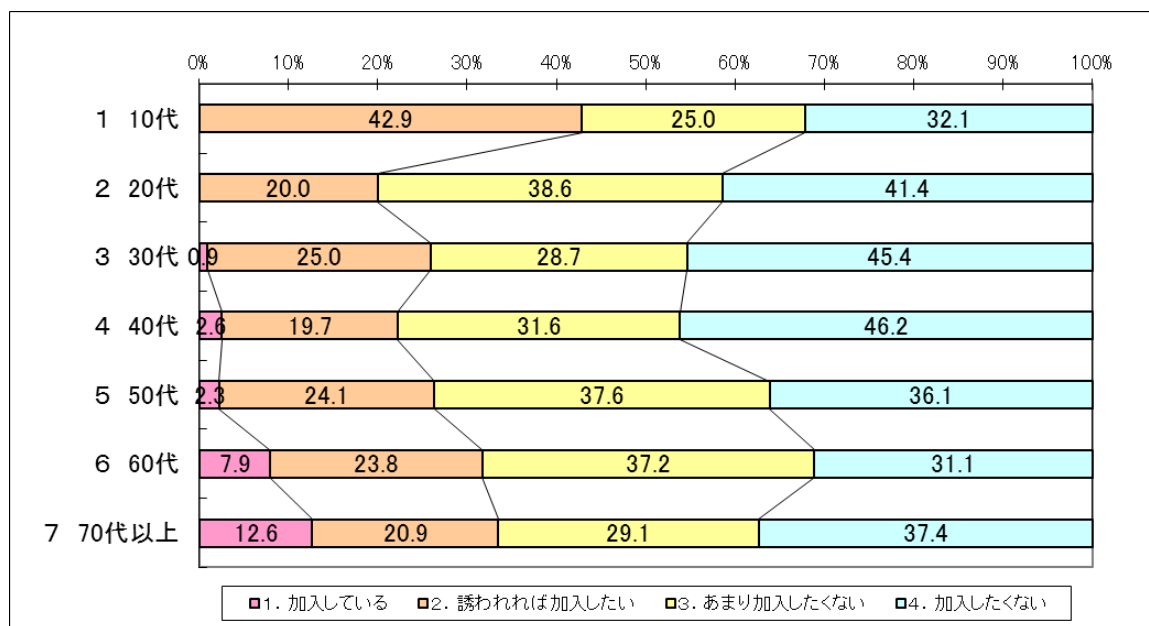
(17) あなたは、スポーツクラブ21についてどの程度知っていますか。



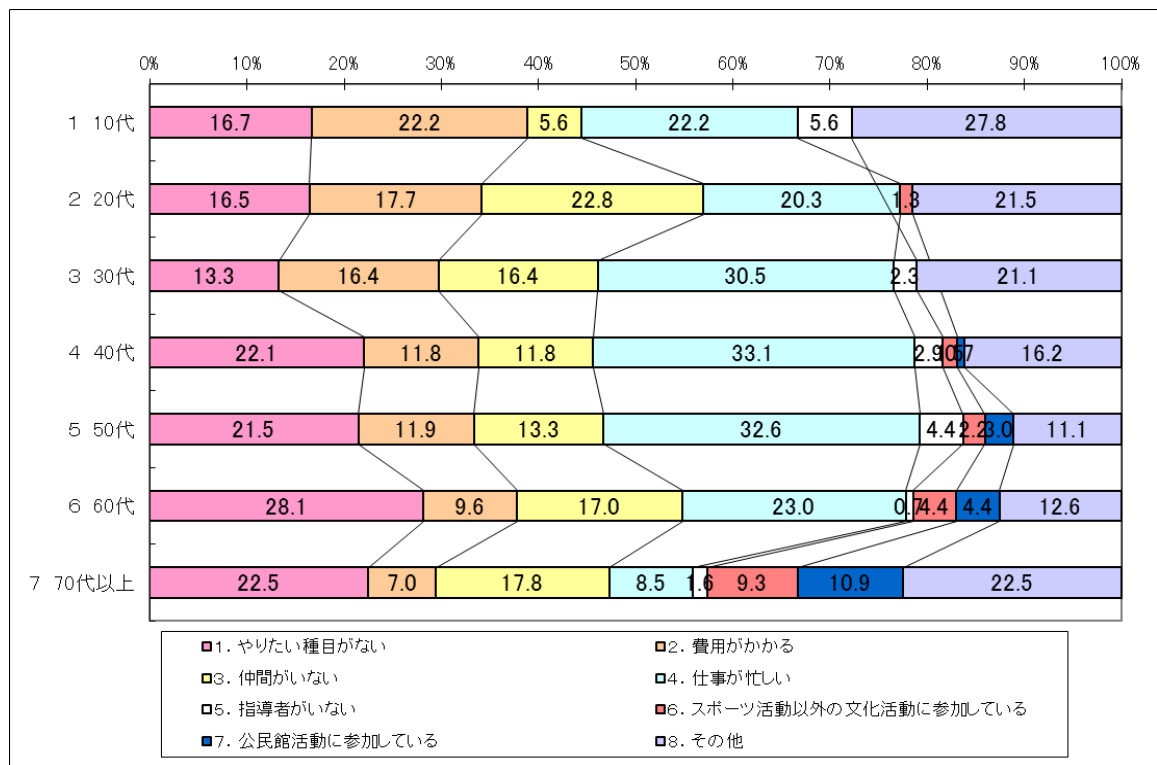
(18) あなたは、スポーツクラブ21にどれくらいの年会費なら支払ってもよいですか。



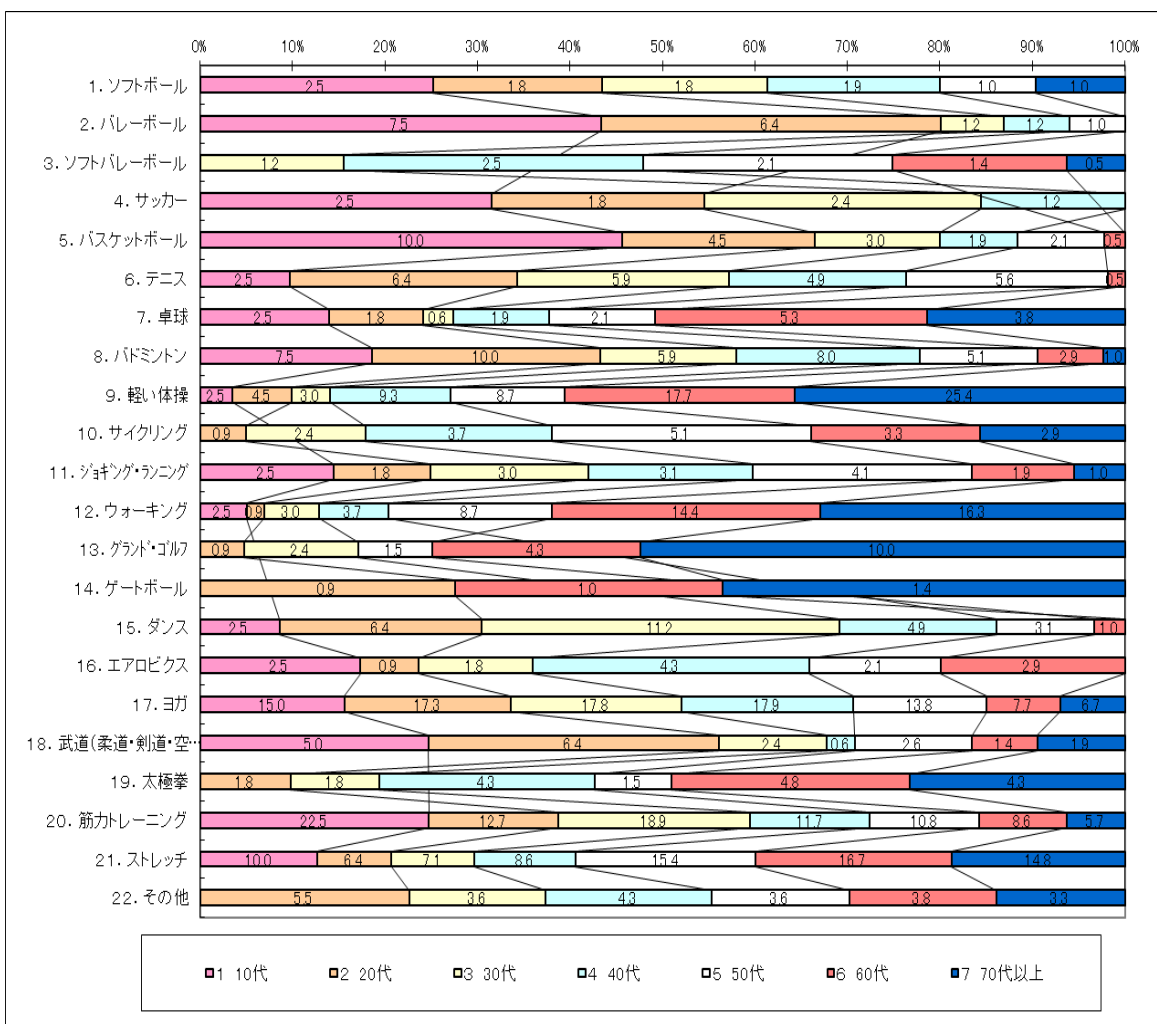
(19) あなたはスポーツクラブ21に加入したいと思いますか。



(20) (19) の質問で、「あまり加入したくない」「加入したくない」に○印をつけられた方におたずねします。(複数回答可)

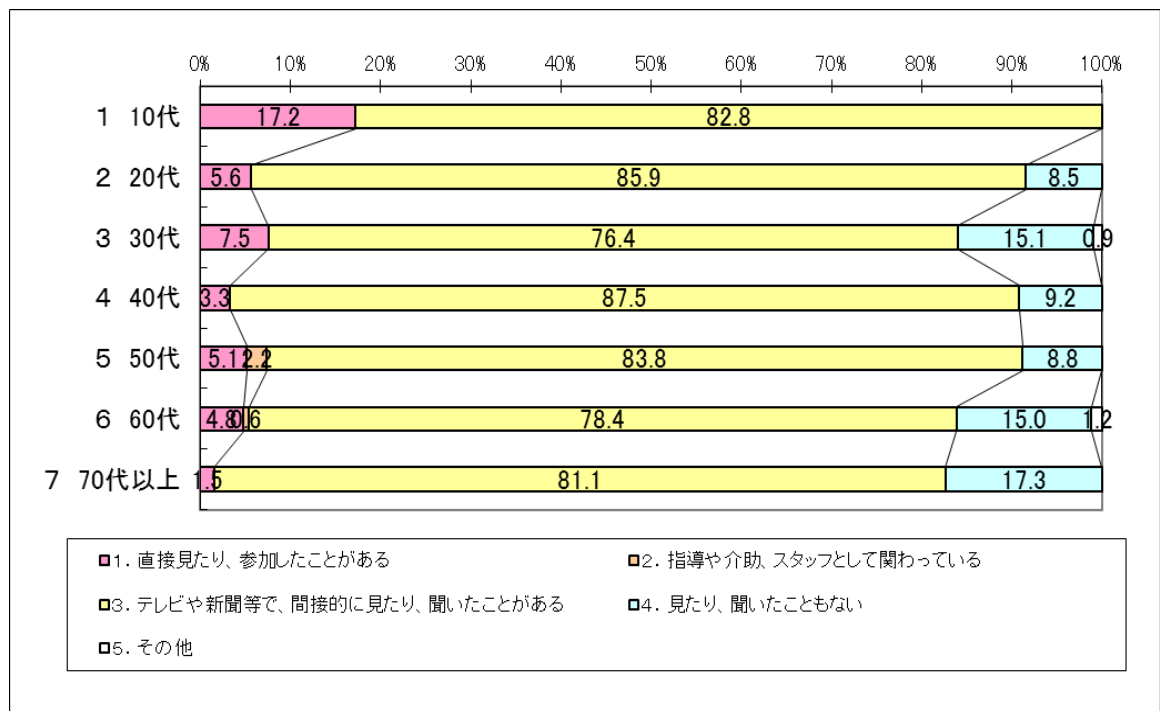


(21) あなたは、スポーツクラブ21 にどのような教室を開講してもらいたいですか。(複数回答可)

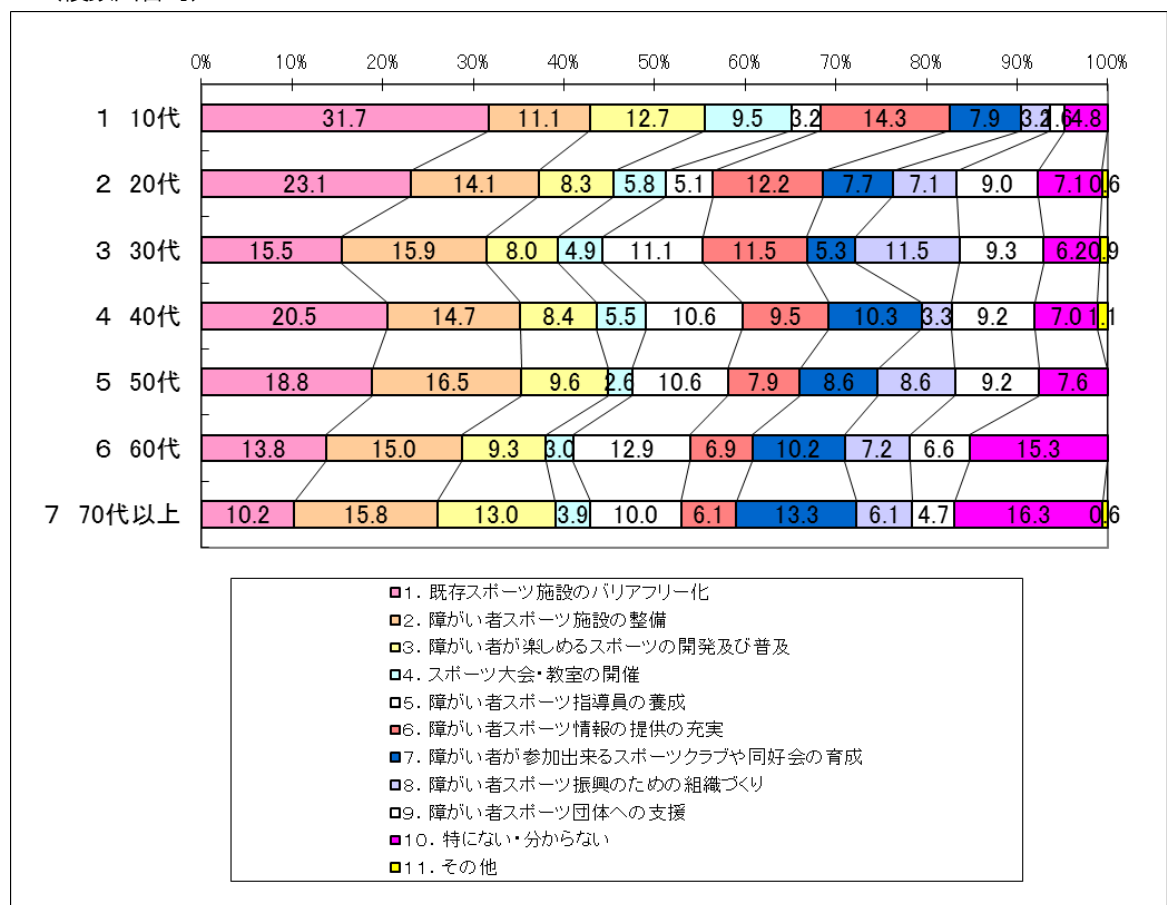


V 障がい者スポーツについておたずねします。

(22) あなたは、障がい者スポーツについてどの程度知っていますか。

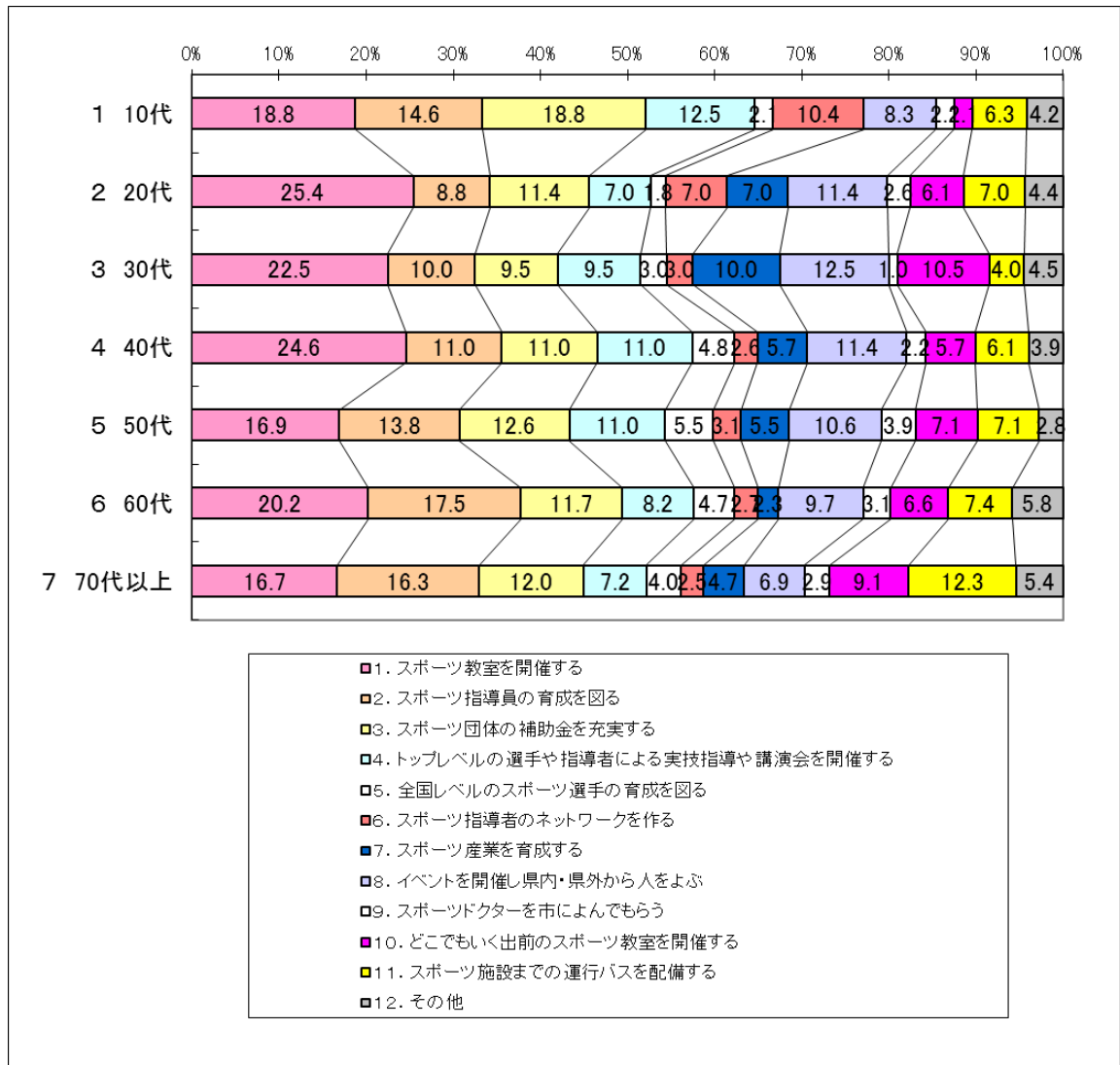


(23) あなたは、障がい者がよりスポーツをおこなうためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答可)

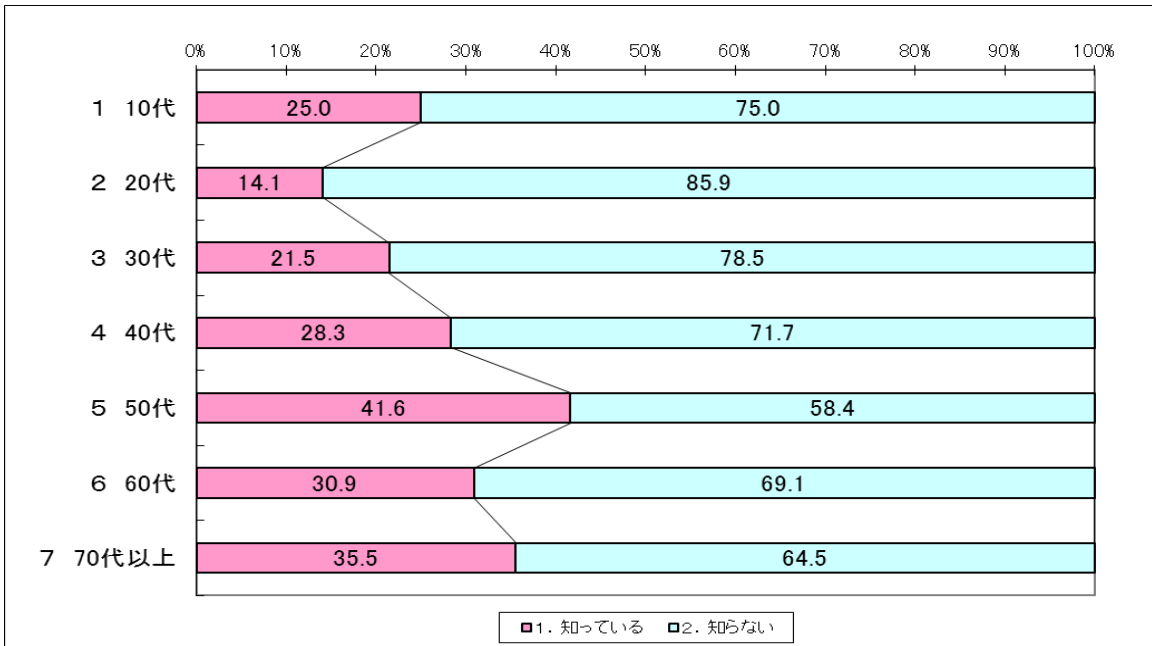


Ⅵ スポーツ行政についておたずねします。

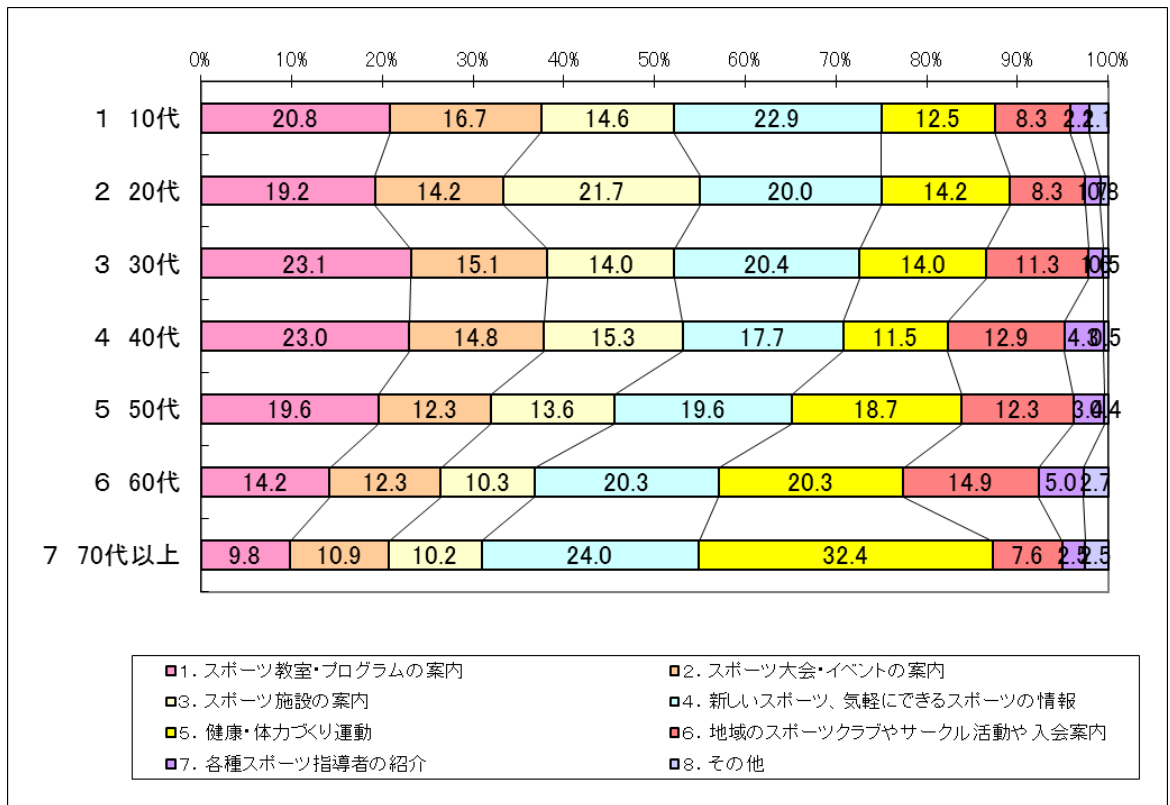
(24) あなたは、加西市のスポーツ行政に何を望みますか。(複数回答可)



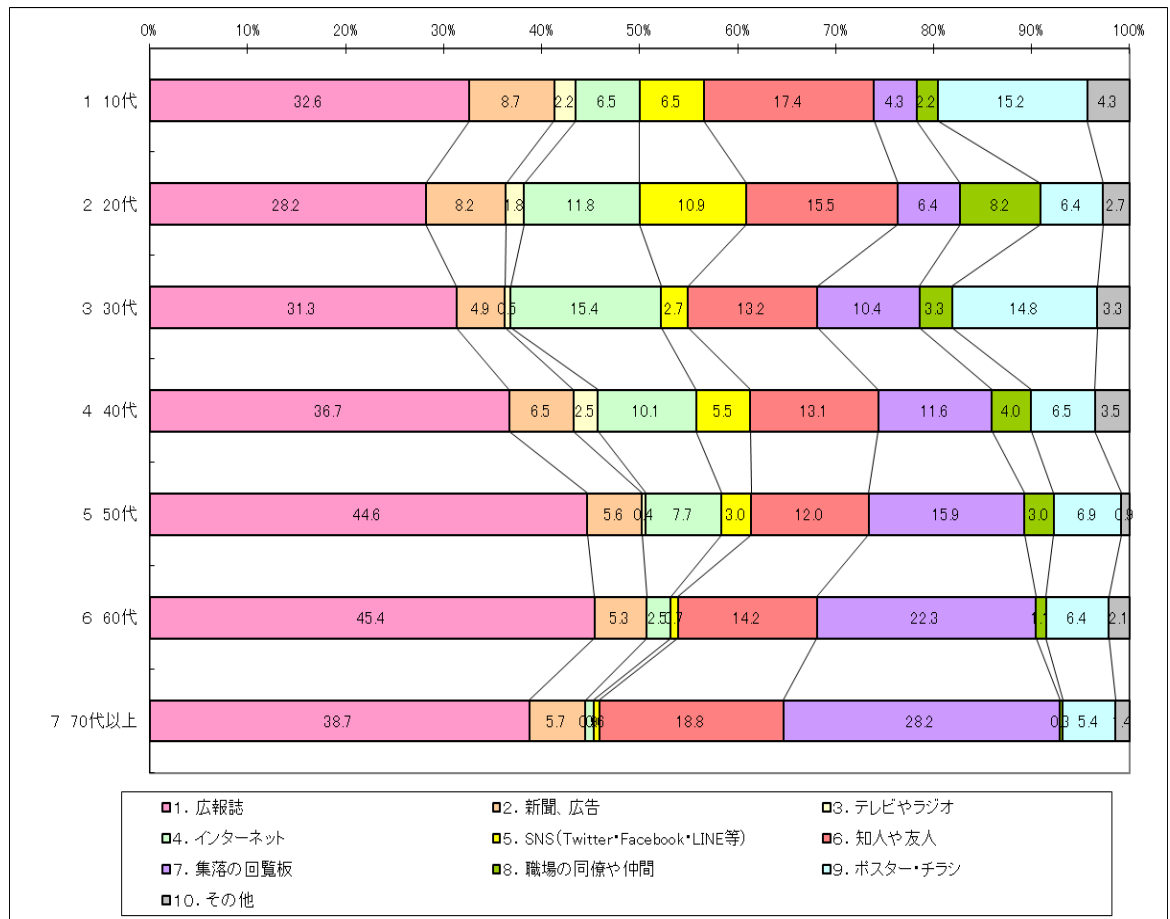
(25) あなたは、加西市において開催されている運動やスポーツイベント、教室を知っていますか。



(26) あなたは、加西市の運動・スポーツに関してどのような情報があればいいと思いますか。
(複数回答可)

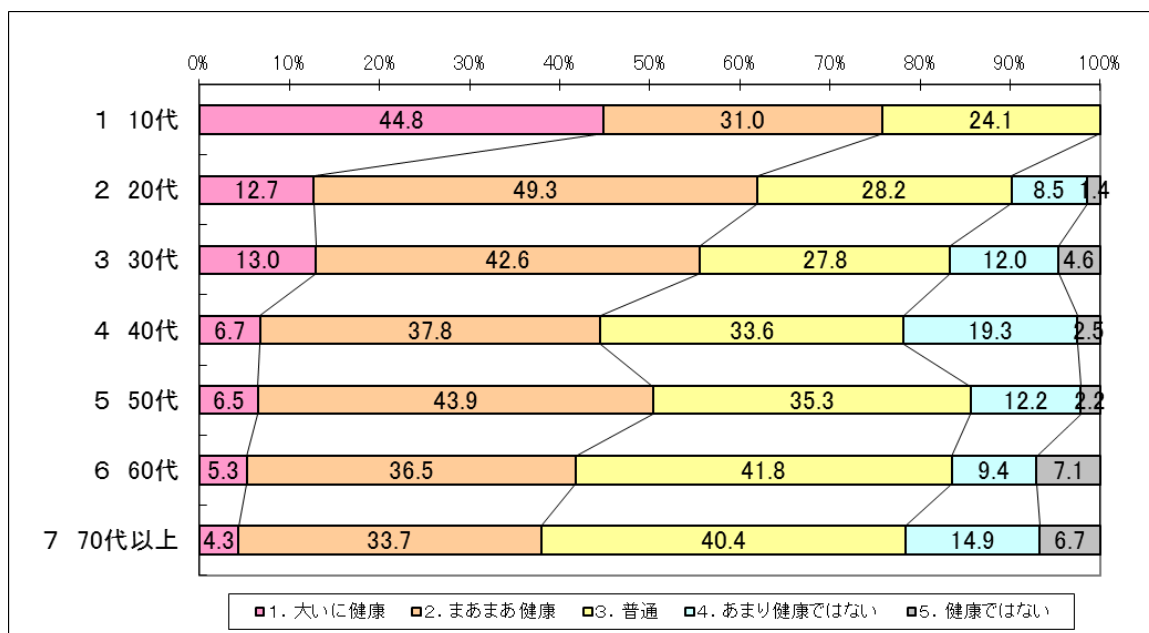


(27) あなたは、加西市の運動・スポーツに関する情報をどのようにして得ていますか。(複数回答可)

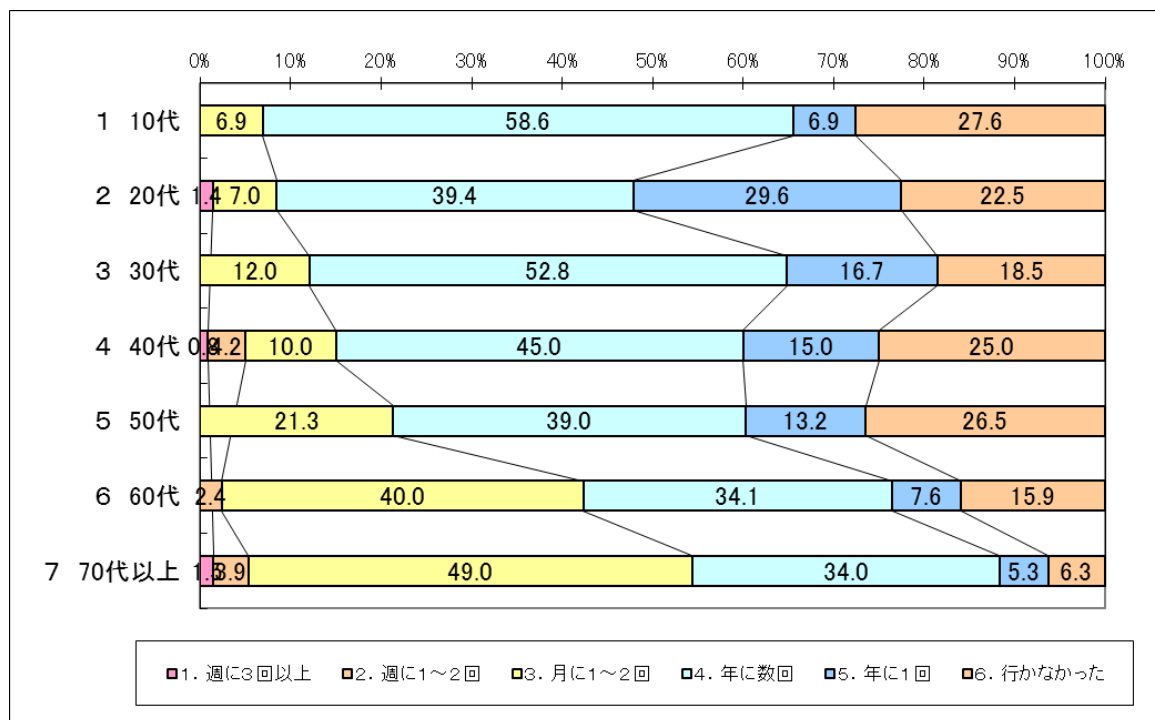


Ⅶ 健康についておたずねします。

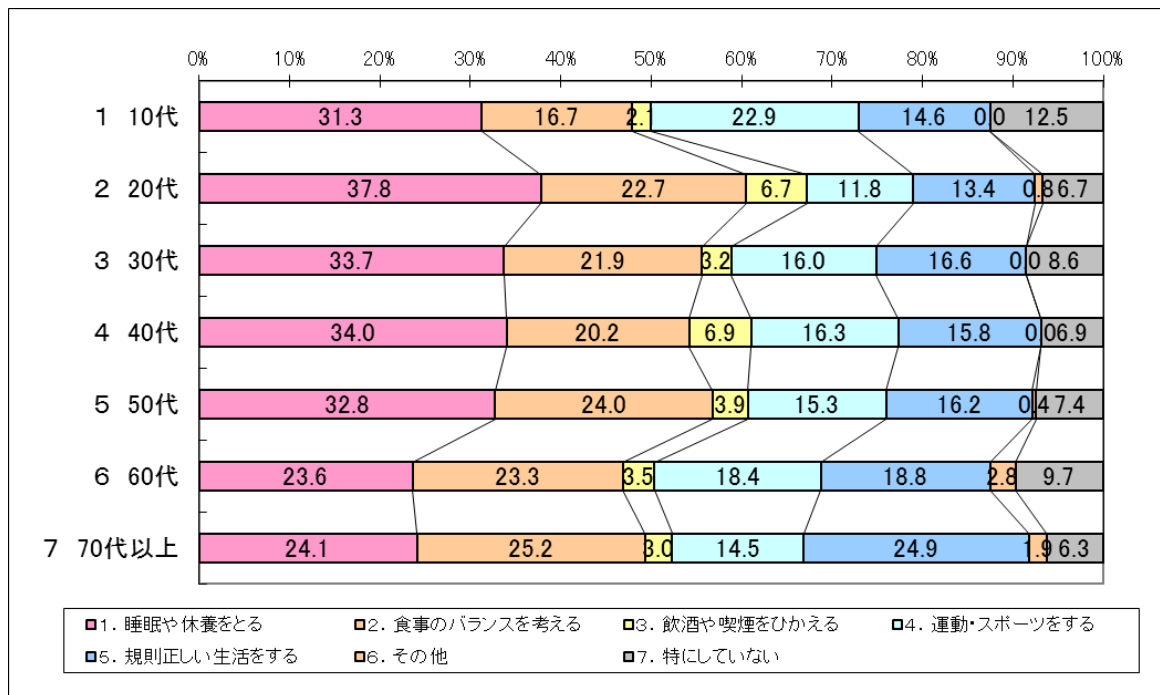
(28) あなたは、現在健康だと思いますか。



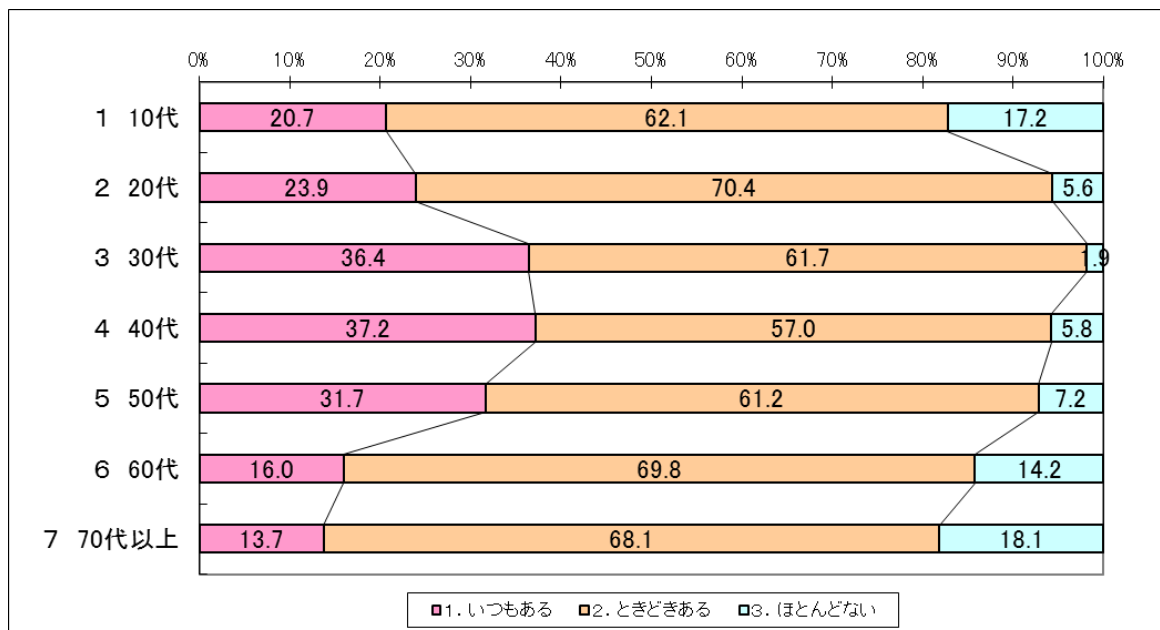
(29) あなたは、過去1年間にどの程度医者（歯医者を除く）にかかりましたか。



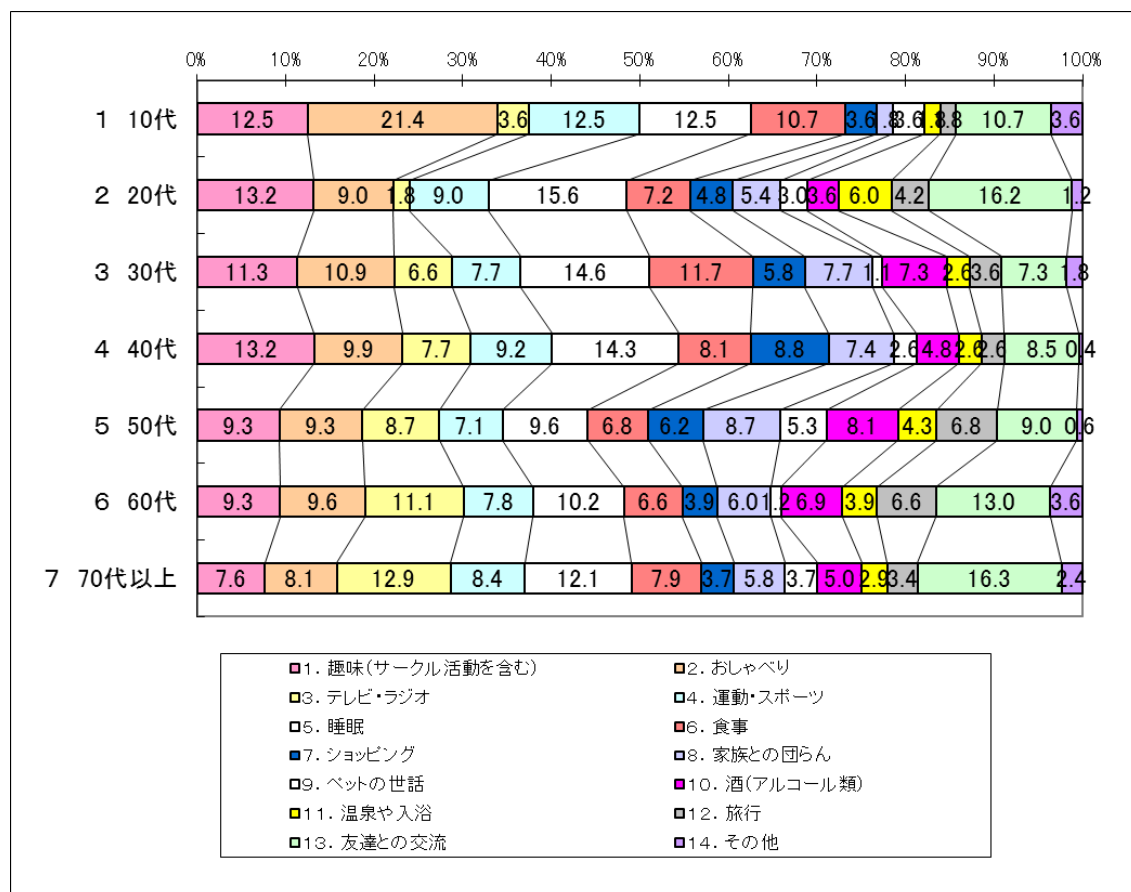
(30) あなたは、健康や体力維持のためにどのようなことをしていますか。(複数回答可)



(31) あなたは、ストレスを感じることがありますか。

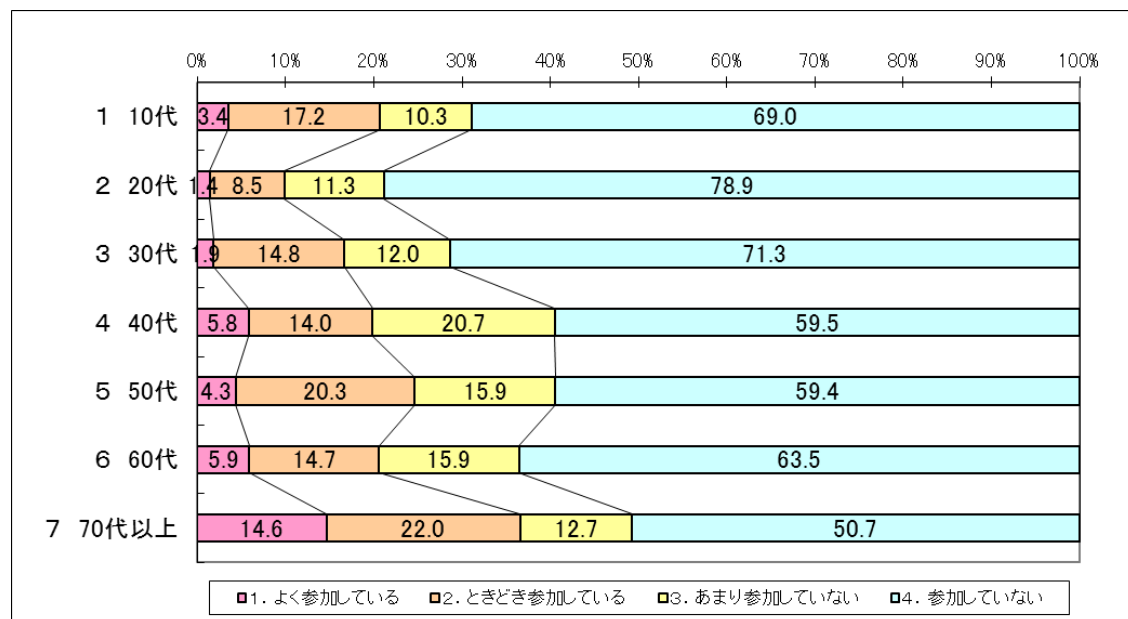


(32) あなたは、どのようにしてストレスを解消していますか。(複数回答可)



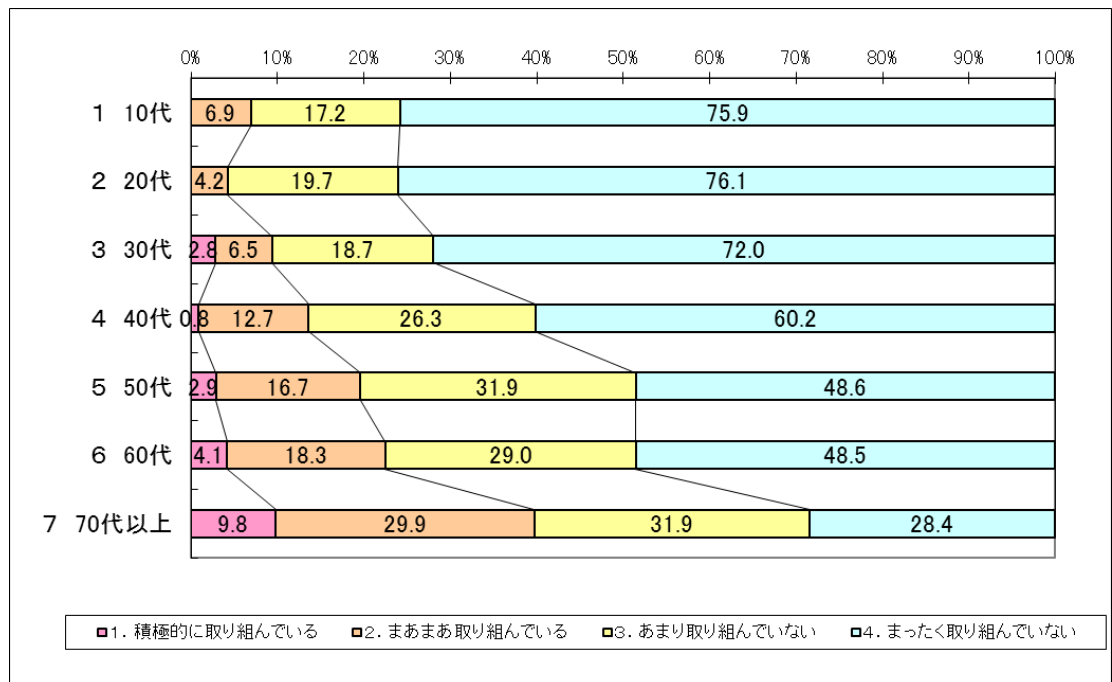
VIII 地域（コミュニティ）活動についておたずねします。

(33) あなたは、地域のスポーツ行事にどの程度参加しますか。【例：運動会・球技大会など】



(34) あなたは、地域の人々と一緒に趣味や学習などに対してどの程度取り組んでいますか。

【例：公民館・集会所を利用する、地域の人で集まる等】



第2次加西市スポーツ推進計画

2021 年（令和3年）3月

加西市ふるさと創造部文化・観光・スポーツ課
〒675-2395 兵庫県加西市北条町横尾 1000 番地

TEL:0790-42-8773 / FAX:0790-42-8745

E-mail: bunka@city.kasai.lg.jp